

ふるさと創造プロジェクト

うるしの里かわだ 元気再生プロジェクト 計画書



平成25年9月

鯖江市

ごあいさつ



「うるしの里かわだ元気再生プロジェクト」計画策定にあたって

河和田地区は、漆器産業に代表されるものづくりを地域活力の源として発展を遂げてきました。特に、高度経済成長期には、古い伝統に支えられながら、時代の変化に的確に対応し、市場の内需拡大とともにより大きく成長してまいりました。

しかし近年、長引く景気低迷と消費者ニーズの多様化に伴い、漆器産業は厳しい状況下にあります。そしてこの流れとともに、河和田地区の人口は過去 10 年で 743 人、去年 9 月からの 1 年間でも 93 人減少するなど、他の中山間地域同様、人口減少と高齢化が進み、地域コミュニティの存続の危機を感じる集落も見受けられます。

今後、河和田地区が発展するには、地域住民と地域産業が一体化し、それを行政が支援し、ゆくゆくは地域がひとつになった自立的なまちづくり運営を行っていくことが必要であると考えております。

このような中、県の「ふるさと創造プロジェクト事業」のご支援をいただき、「うるしの里かわだ元気再生プロジェクト」を河和田地区で実施いたします。この事業は、県内各市町がオンリーワン、ナンバーワンのふるさとづくりを推進するため、地域資源を活用し発展させながら、全国に誇りを持って発信していこうという事業であります。

ご承知のとおり、河和田地区は 1500 年の歴史を有する越前漆器の里であるとともに本市の眼鏡産業発祥の地であることや、さらに古くは河和田の荘が成立したとされる 1134 年頃には養蚕業が盛んに行われていたなど、本市の三大地場産業のルーツであるとされています。豊かな自然環境の下、ホタルやおしどりなどの希少動物も生息し、さらには、「河和田アートキャンプ」をきっかけに、ものづくりや人の温かさに魅力を感じ、9 名の若者が定住するなど、ものづくり、自然・文化、人づくり、どれをとっても河和田地区はまちづくりの土台ができております。いわば、日本のふるさととの原点といえる「人」、「もの」、「自然・環境・風土」、「まち」の魅力に溢れ、まだまだ磨けば光る素晴らしい地域であります。

今般、地域の皆様方との協働でプロジェクト事業の詳細計画を策定しました。この計画に基づき、「かわだ元気再生」への熱い思いを抱き、地域の宝を活用し賑わいの創出から交流人口の増加、そして定住促進へとつなげていけるよう、地域が一体となった元気なまちづくりを目指したいと考えております。

最後になりましたが、本計画の策定にご支援とご尽力をいただきました、福井県ならびに「うるしの里かわだ元気再生プロジェクト計画策定委員会」委員の皆様、そして貴重なご意見をいただいた多くの河和田地区の皆様にご心から感謝とお礼を申し上げます。

平成 25 年 9 月

鯖江市 牧野 白男

はじめに

「うるしの里かわだ元気再生プロジェクト」は、人口の減少および近年の景気不況に伴う地域産業の減退化により、地域活力が失われつつあるこの河和田地区にて、改めて、今ある漆器産業をはじめとする地場産業や豊かな自然・歴史・文化・景観など、河和田の宝を見つめ直し、それを光らせるために磨き上げ、組み合わせてまちづくりに活かしていくといったストーリーを、「新河和田物語」として発展させていくために、河和田の皆様でアイデアを出し合って、元気なまちづくりを目指すための手段を表したものであります。

この計画では、各事業をどれくらいの規模で実施していくかというところは示されておられません。まちづくりを実践するのは河和田の人々であります。よって、自分たちの力量にあわせた取り組みを進めていくことが大切なことでもあります。また、若い力が河和田への新しい風となって入ってきたことで、地域に芽生えたおもてなしの心による人の温かさやものづくり産業に魅力を感じ河和田へ定住する若者も増えてきており、交流から定住へと今まさに進めようとしているまちづくりの土台ができています。そして、事業を進めていく過程で、このような魅力ある河和田のまちを次の世代へと引き継いでいくことも不可欠であります。

美しい自然や匠の伝統、また河和田の人々の人情や伝統的な町並みなど、これらの「風土資産」を活かし、それを人との交流により「かわだ」の可能性を再価値化していくという基本理念にもとづき、モノ・マチ・コト・ヒトの4つを軸とした魅力ある事業を、河和田の住民や事業者が一体となって取り組む、“オールかわだ”を行政がサポートする仕組みがつくられ、交流人口増加から賑わい創出により、そこに暮らす人も産業も、そして河和田のまちが元気になることを期待してやみません。

終わりに、本計画づくりに熱心にご参加いただきました策定委員の皆様をはじめ、ワークショップにご参加いただいた河和田地区の皆様にお礼を申し上げましてご挨拶といたします。

平成 25 年 9 月

うるしの里かわだ元気再生プロジェクト
計画策定委員会委員長 田 中 一 男

目 次

1	策定の趣旨	1
2	河和田地区の現状と課題の整理	2
	(1) これまでのまちづくり活動	
	(2) 主な成果	
	(3) 情勢の変化と福井豪雨からの復興、そしてさらなるまちづくりに向けた課題	
3	目指すべき方向の設定	10
	(1) 基本理念	
	(2) 4つの軸	
	①. 開かれた「ものづくり」から発信する伝統文化	
	②. 後世に伝える持続可能な「住・自然環境」の充実	
	③. 新しい「縁・賑わい」の創出	
	④. 誇りと愛着・絆を育む「人」づくり	
4	具体的な取り組み	12
	(1) モノ：職と食、ものづくりの見える化	
	(2) マチ：生活空間と自然環境のネットワークづくり	
	(3) コト：かわだ賑わい空間づくり	
	(4) ヒト：おもてなしからつながりへ、絆を育む「かわだ人」づくり	
5	計画の推進体制	16
	(1) 地域と行政が協働で取り組む事業内容	
	(2) 推進のための体制づくり	
	(3) 数値目標	
6	資料編	40
	(1) 計画策定に向けた参考資料	

1 策定の趣旨

我が国の総人口は2008年にピークをむかえ、今後100年の見通しとして超高齢化を伴った人口減少の局面（縮小化社会）に入りました。それは、これまで私たちが“人口増加の時代”の中で経験してきた様々な地域課題や問題とは異なる“人口減少の時代”を背景とした地域社会について考え直さなければならないことを示しています。こうした全国的な人口減少や高齢化の進行が地域に与える影響について、コミュニティや集落機能の維持がこれまでとは異なった要因として困難となってくる状況が伺われます。具体的には、地域を支えてきた産業の衰退や地域固有の歴史や伝統文化の継承が困難となっていること、及び地方から都市部への人口移動などが、地域の活力の更なる低下を招く可能性があります。

このような状況に対し、生活圈レベルにおいて人口減少を前提としながらも、固有の伝統文化・自然条件等をいかして質の高い暮らしを営むことのできる、持続可能な地域づくりを目指していくことが必要です。その際、まちづくりに当たっては、人口増加に伴う都市の拡大に合わせた基盤整備を行うという考え方から脱し、既存ストックの状況に合わせたコンパクトなまちづくりへと発想を転換することが不可欠です。また、それぞれの地域が、その地域独自の資源資産等をいかして活性化に取り組んでいくことが重要です。

地域活性化いわゆる「地域おこし」とは、地方自治体などの地域が、衰えた経済力や賑やかさを向上させるために行う活動や意識向上を言います。地域の団体やそこに暮らす人々の主体性により形づくられ、住みよい地域を形成する「まちづくり」へと繋がっていきます。

今般、福井県が「ふるさと創造プロジェクト」を創設しました。この事業は、県内各市町がオンリーワン、ナンバーワンのふるさとづくりを行うため、歴史や文化などの地域資源を積極的に活用し発展させ、全国に誇りを持って発信していくことを目的としています。

本市では、このプロジェクトを河和田地区で取り組みます。河和田地区は昨今、本市の中でも人口減少と同時に高齢化が進行し、主産業である漆器産業が長引く不況により厳しい状況下にあります。しかしながら、鯖江市に色濃く残る日本のふるさとの原点である「人」・「ものづくり」・「自然、環境、風土」・「まち」の4つの魅力がこの河和田地区には存在しています。こういった地域の宝を最大限に生かした、交流事業や環境整備を盛り込んだ、「うるしの里かわだ元気再生プロジェクト」の計画を策定し、その計画に基づき、市民協働で交流人口を増やし地域の賑わい創出とそこに暮らす人々の喜びと産業が活力に満ちた、元気なまち河和田を目指します。



うるしの里会館

2 河和田地区の現状と課題の整理

(1) これまでのまちづくり活動

今日まで、河和田地区ではそこに住んでいる人が、1500年の伝統を誇る漆器産業をはじめとする地場産業や豊かな自然・伝統文化・町並み景観などの地域資源を活かしたまちづくり活動を展開してきました。

■モノづくり産地の振興

越前漆器伝統産業会館の改築

作るだけの産地から売れるものを作り売る産地への転換

越前漆器の技術を活かした異業種・異分野進出

学校給食食器への越前漆器導入

地域資源を活用した特産品の開発

■産業観光の推進

職人工房や漆器販売店を見学と体験、交流の場として整備支援

賑わいのある中心地を作り出すための観光イベントの開催

産地の匠の技術と異業種交流による産業観光の推進

■自然と景観の保全と活用

中山公園付近のホタル生息地を環境保全区域に指定し、自然環境保全を推進

ホタル観察会や野鳥観察会の開催

河和田町中道地区を「鯖江市景観づくり推進地区」に指定し、町並み景観整備を推進

中山公園の環境保全にふさわしい整備

お清水による水資源保全活用

■地域文化の向上と創出

口碑伝説の研究調査による河和田の歴史文化の継承

古民家を活用した食のおもてなしイベントの開催

学生をパートナーとしてアートと産業の融合による新たな地域文化の創出

河和田の古くて新しい食文化の発信と食を通じた都市住民との交流

地域資源と人材を活用した地域活性と新しい観光の創造

■生涯現役の力の活用

地域の子供たちとの交流による文化の継承

学生や若者との交流を通じた技術、経験、知恵の継承とさらなる活動の場の創出

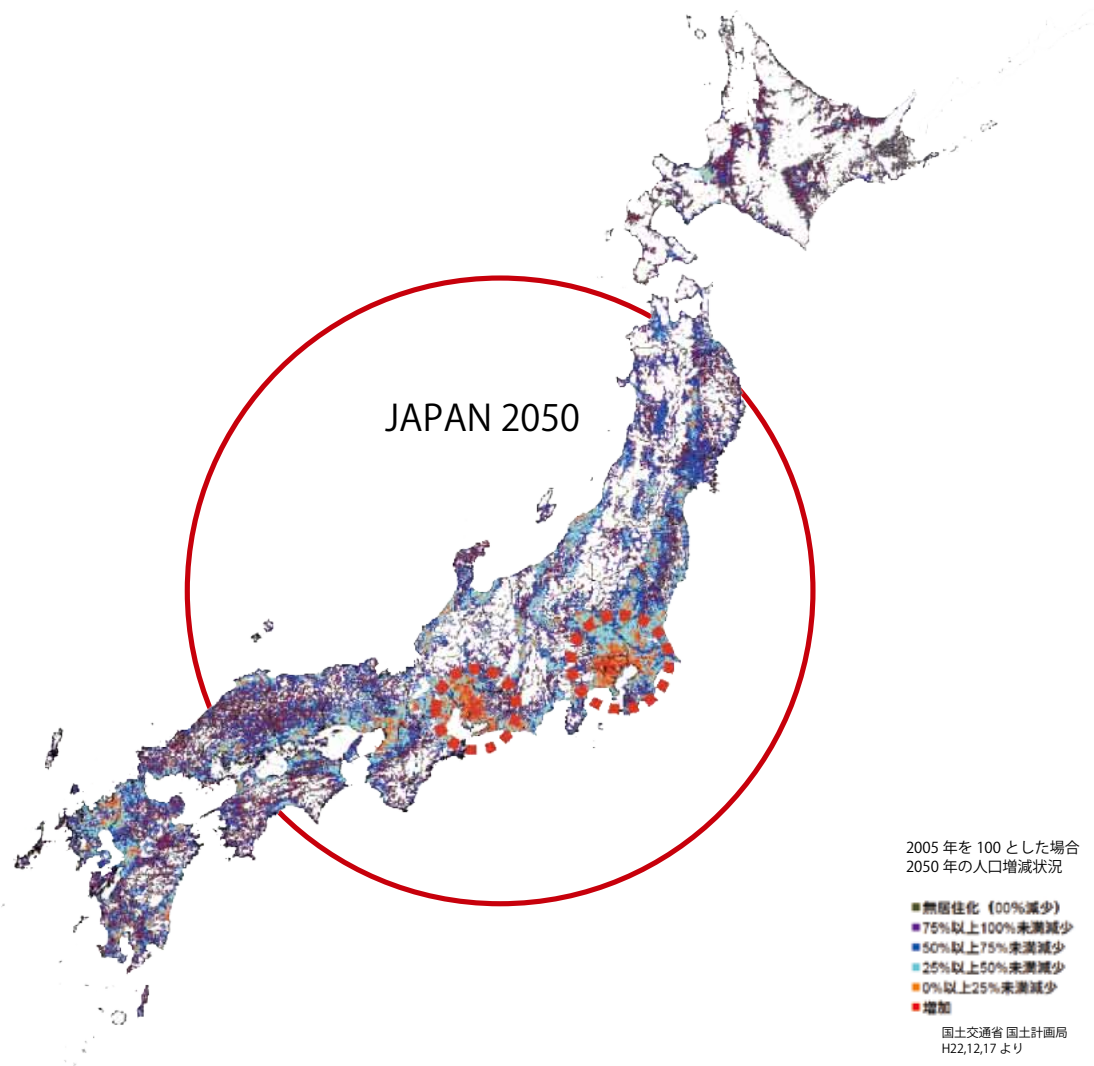
(2) 主な成果

- ・ ホタルを観る会や野鳥を観る会開催による自然環境保全活動（H8 ～）
- ・ 口碑伝説看板の設置や創作狂言による歴史、伝統文化の継承（H12 ～）
- ・ ふれあいオープンスクールによる地域と教育の場の交流（H13 ～）
- ・ 河和田町中道地区、町並み景観整備支援の実施（H15 ～ 12 件）
- ・ かわだ文庫による地域の子供たちが本や絵本に親しめる環境づくり（H15 ～）
- ・ 新たな産業振興拠点施設として「うるしの里会館」オープン（H17）
- ・ 河和田アートキャンプの成功例に見る地域と若者の交流と都市部からの定住（H17 ～）
- ・ まちづくり交付金事業による福井豪雨からの復興（H17 ～ H22）
- ・ 桃源清水の復活と環境イベントの開催（H19 ～）
- ・ 農家レストラン「椀椀」による伝統料理と器に親しむ、新しい食文化の発信（H21 ～）
- ・ 越前塗山車製作による異業種交流と後継者育成（H22 ～）
- ・ うるしの里中道アートによる産業観光の推進（H23 ～）
- ・ ふる里体験の家「椀 de 縁」による田舎体験プログラムの展開（H24 ～）
- ・ 河和田に伝わる薬味「山うに」の特産化を目指すプロジェクトの推進（H24 ～）



大門橋と大門通り

(3) 情勢の変化と福井豪雨からの復興、そしてさらなるまちづくりに向けた課題

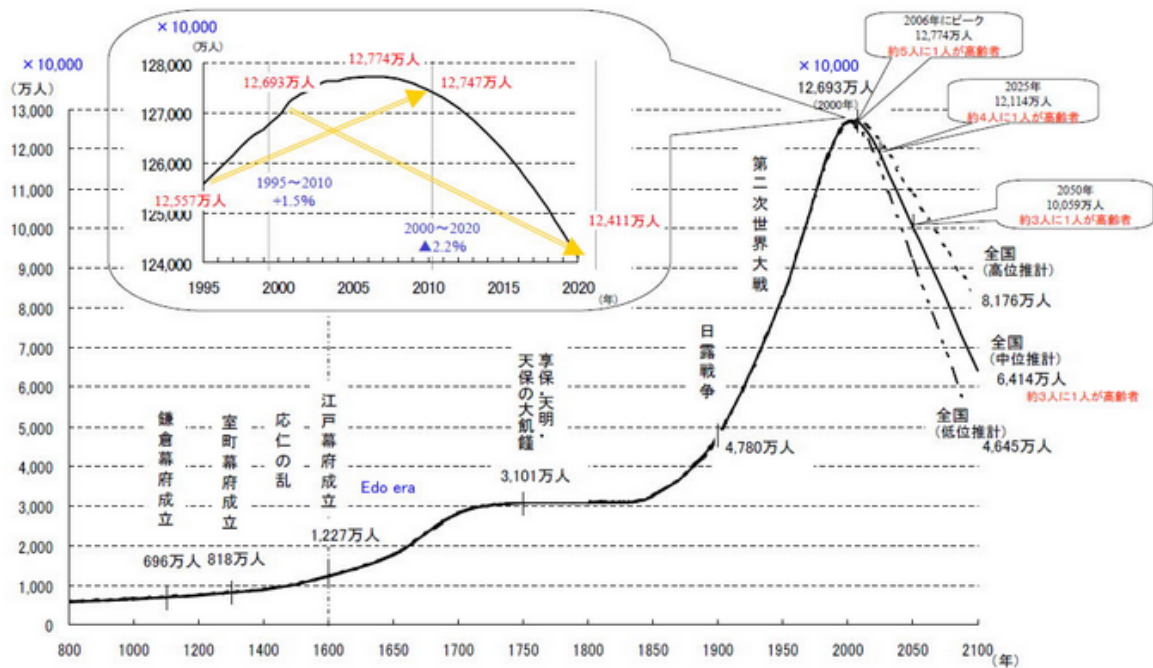


「国土の大部分で人口が疎になり、地域的に集積が起こる」

あくまでも、近年の出生率、人口移動データなどの推測ではあるが、2008 年に日本の人口がピークを向かえ 2050 年に 9000 万人（25% 減）になるとされています。また、全国的な人口減少と共に、条件不利地から都市部への人口移動により、全国的に無居住地域が増大し、里地里山の荒廃や地域固有の文化伝統・歴史、そして何より我々の「故郷」が、消失する可能性が否定できない状況を迎えています。

「うるしの里かわだ元気再生プロジェクト」を検討するにあたり、これまでのように「地域にとって何が必要か」といった狭義の視点ではなく、日本の全国的な状況や変化を踏まえて「日本にとっての河和田が、如何にあるべきか」「次世代にとっての河和田が、如何にあるべきか」を考察する必要があると思います。

◇日本の総人口は、2008 年をピークに、今後 100 年間で 100 年前（明治時代後半）の水準に戻っていきます。この変化は千年単位でみても類を見ない、極めて急激な変化です。



(出典) 総務省「国勢調査報告」、同「人口推計年報」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成14年1月推計)」、国土庁「日本列島における人口分布変動の長期時系列分析」(1974年)をもとに国土交通省国土計画局作成。

図-2 西暦800年から2100年までの人口の推移

Japanese population 800 to 2100

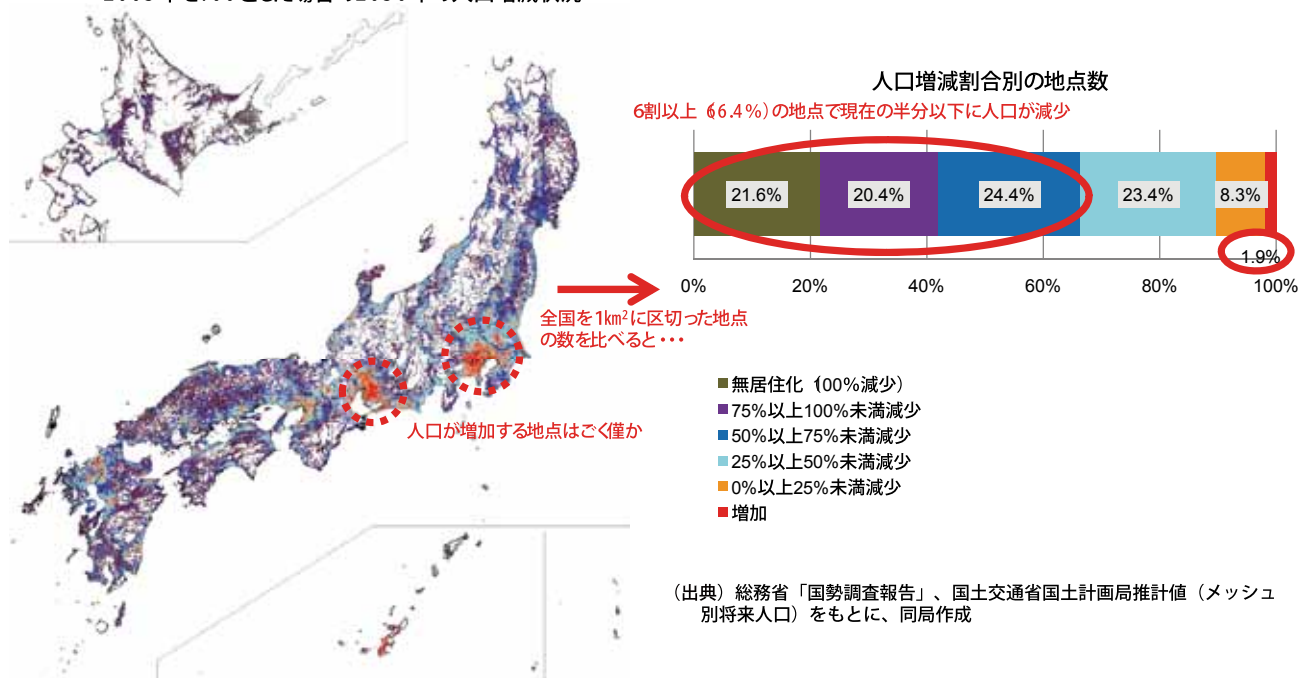
出典:国土交通省資料

◇全国を「1km²の地点」で見ると、全国的な人口減少率 約 25.5%を上回って人口が減少する、(非常に人口が疎になる) 地点が多数となります。

特に人口が半分以下になる地点が現在の居住地域の 6 割以上を占めます。

◇人口が増加する地点の割合は 2%以下で東京圏と名古屋圏に集中しています。

2005年を100とした場合の2050年の人口増減状況



(出典) 総務省「国勢調査報告」、国土交通省国土計画局推計値(メッシュ別将来人口)をもとに、同局作成

27 工業の推移

・各年12月31日現在
・資料:工業統計調査

眼鏡・繊維・漆器の現況

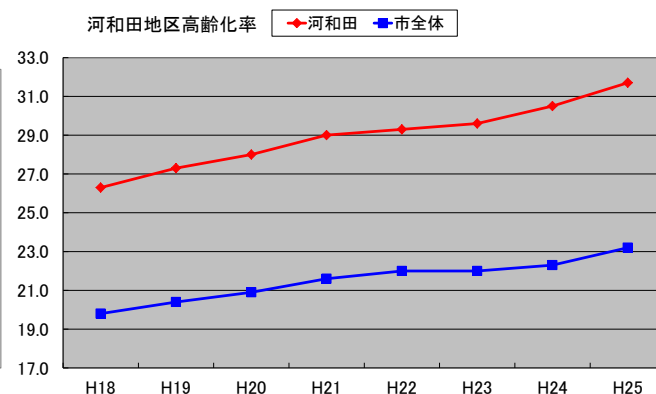
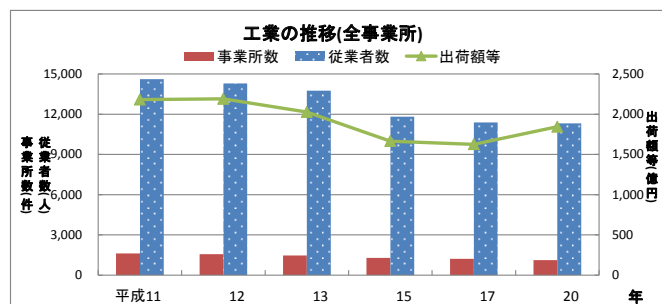
・各年12月31日現在
・資料:工業統計調査
(鯖江市独自集計)

(全事業所)

年	事業所数	従業者数	出荷額等
平成11	1,622	14,618	2,182
12	1,562	14,300	2,191
13	1,471	13,762	2,027
15	1,280	11,818	1,665
17	1,211	11,387	1,626
20	1,113	11,319	1,844

(全事業所)

区分	年次	事業所数	従業者数 (人)	出荷額等 (万円)
眼鏡	平成 17	601	5,596	6,798,664
	20	531	5,308	7,613,559
繊維	平成 17	137	2,255	3,862,249
	20	125	2,294	4,643,303
漆器	平成 17	246	815	542,891
	20	232	740	473,710



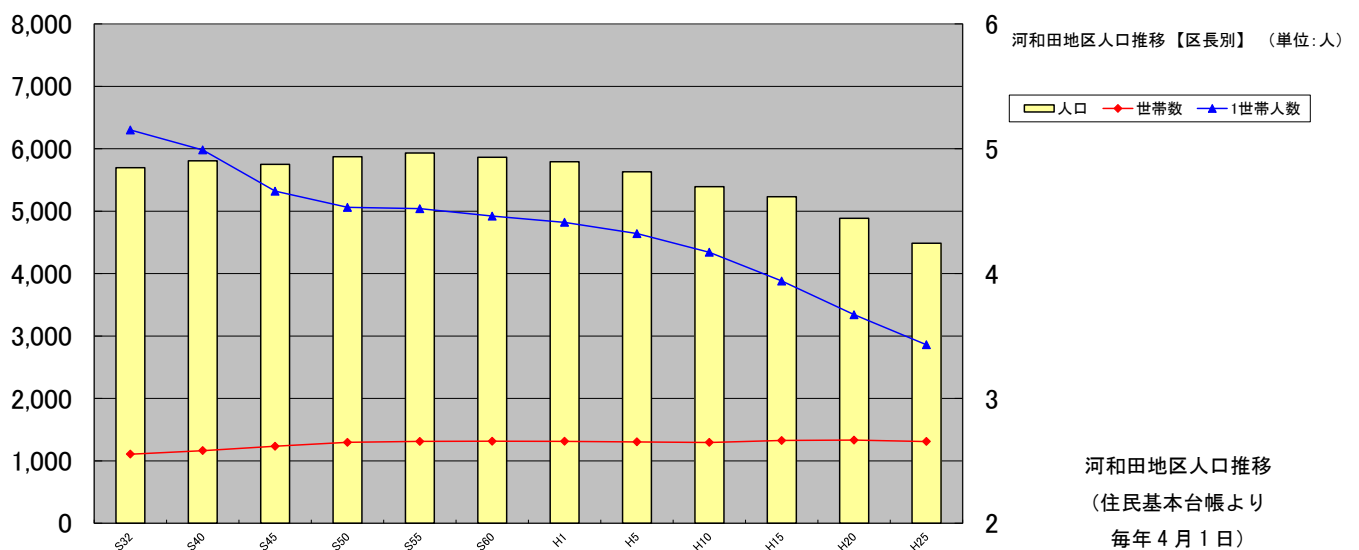
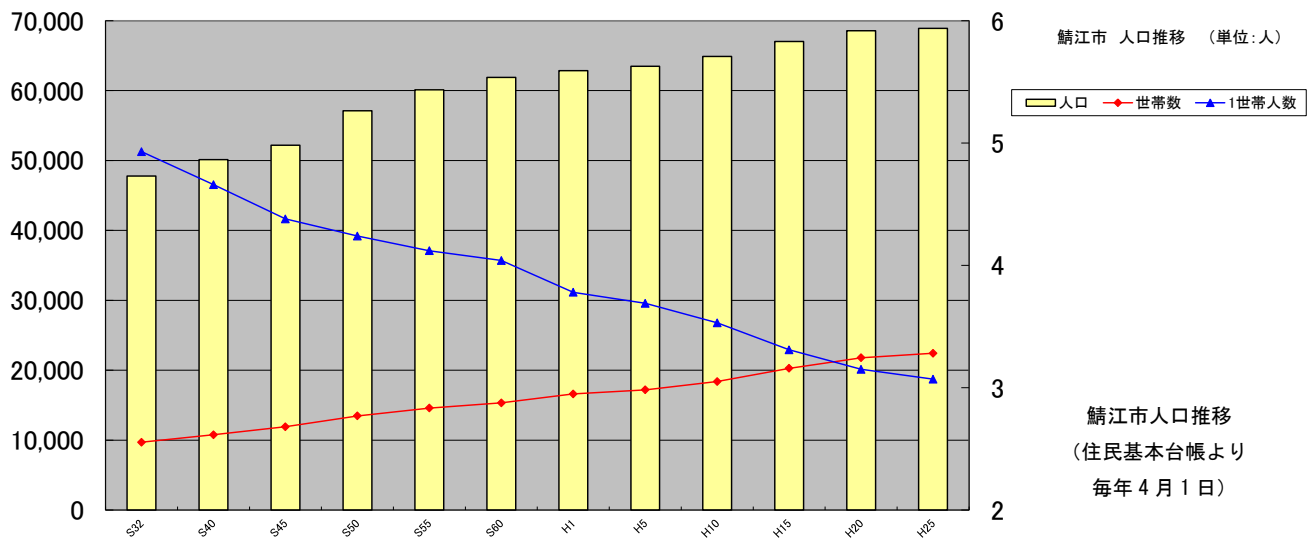
■河和田地区をめぐる情勢の変化と福井豪雨からの復興

河和田地区に集積する越前漆器産業は、経済情勢の変化はもとより日本人の生活様式の変化や海外製品の台頭等により、工業製品出荷額は年々減少しています。また、越前漆器の伝統工芸士も高齢化の折、その技術を受け継ぐ後継者の育成が急がれるところです。

漆器産業だけでなく、眼鏡などの製造業、農業、林業、小売業などの地場産業も厳しい状況にあり、少なからず河和田地区全体のまちづくりにも影響をおよぼしています。

また、当地区の人口減少も歯止めがかからない状態となっています。平成に入り約1,200人減少し高齢化率も本市の中では高く、また都市部などへの人口流動による核家族化が進むなど、地域コミュニティの存続も危ぶまれる地域も存在しています。

しかし、河和田地区はかねてからまちづくり活動が活発であり、区長会をはじめ各種団体が地域資源を活かしたさまざまな活動を展開し、他地区とは特化して成果が目に見えてくるようになりました。



まちづくりへの機運が高まりつつある中、平成16年7月に発生した福井豪雨は、地域はもちろん漆器産業も未曾有の被害を蒙りました。これからさらなる河和田の活性化に取り組んでいこうとしていた人々にとってもかなりのダメージとなりました。しかし、そこに暮らす職人や商人、また地域住民一人ひとりの河和田再生への強い思いが、河和田の町を復興へと導きました。

福井豪雨は河和田に大きな爪あとを残しましたが、一方で新たなまちづくりへの芽が動き出しました。災害ボランティア活動をきっかけとしてスタートした「河和田アートキャンプ」をはじめとして、若者が河和田で活動する場面が多く見られるようになりました。そこから地域の人々との交流が生まれ、河和田への来訪者に対するおもてなしが河和田の魅力のひとつとなりました。

ものづくりの産地として、漆器という光を観て体験する産業観光の推進や学生が活動するまちとしてアートをキーワードにした活性化イベントの実施、および来訪者をおもてなしの心で接する地域の人々の気運の醸成など、交流人口増加に向けたまちづくり事業を推進し、徐々にではあるが河和田の活性化への兆しが見られます。



河和田地区航空写真

■さらなるまちづくりに向けた課題

河和田地区は、三方が山に囲まれた美しい山里で、豊かな自然と古くから人が住み続けてきた歴史、文化があります。しかし、多くの地域が抱えている問題として、高齢者の増加と地域の担い手たる後継者の減少というかたちで地域社会が大きく変容しようとしていることが挙げられます。これに加えて地場産業の振興や自然環境の保全、地域文化の継承、生活環境の整備などの課題に直面しています。

河和田地区は、これらの状況に対して、常にこれらの問題に取り組み地域の将来を描こうとする市民活動が活発な地区であり、まとまりのあるコミュニティです。つまり、まちづくりの下地が用意された地域です。

いうまでもなく漆器産業をはじめとした河和田地区の地場産業は、地域と密着することで成り立っており、河和田の固有の文化と生活を支える基盤として寄与しています。地場産業と地域の文化・生活とは、地域の個性と豊かさを構成する両輪であり、漆器産業をはじめとした地場産業の振興とまちづくりとは一体のものです。



また、河和田に今までには見られなかった新しい縁として、学生をはじめとした若者との交流が始まり現在もアート制作活動など様々な活動が繰り広げられています。都市部にはない中山間地域特有の豊かな自然環境と匠の技術を有するものづくり産業、そして河和田の人々の“人情”が彼らの目には、新境地といったように感じたのでしょう。彼らとの交流は河和田の人々に“おもてなし”という新たな価値が生まれるきっかけとなりました。

ものづくり産業と自然環境豊かなまち、そして人情味あふれた河和田の人々にとって、今まさにによりよいまちづくりの気運が様々な形で萌芽しつつあります。

河和田地区の活性化は漆器産業をはじめとした地場産業による産業観光の推進と地域外の人との交流により河和田地区全体がより質の高い生活空間となることです。つまり河和田地区が、新たな縁（＝交流人口）を取り入れることにより、そこに暮らす人々が元気になり、地場産業にも活力が戻り、ひいては河和田の町全体が元気になる、そのためには、河和田のものづくりと人々の厚い人情に魅力を感じ、河和田に移住してきた若者たちとともに、さらなる新たな縁を取り入れていくことで、地域活性化へと開けていくのではないのでしょうか。

3 目指すべき方向の設定

(1) 基本理念

美しい自然・匠の伝統・溢れる人情・歴史ある景観、それらを備え持つ「うるしの里」河和田
長い歴史と伝統に培われた『風土資産』を活かし、豊かな市民生活の交流、定住の発展を図り、
新たな鯖江市の交流・定住人口の拠点として「かわだ」の可能性を再価値化することを目指します。

(2) 4つの軸

①開かれた「ものづくり」から発信する伝統文化

河和田は、1500年の伝統を有する漆器産業と、世界の「SABAE」を冠する眼鏡産業発祥の地です。高度経済成長期にはOEMを軸に産業発展してきました。

近年のグローバル化が世界的に進む現代において、その高い技術と匠の技は、市場経済の中で苦戦しています。しかし視点を変えると、これらの生産の現場は品質の安心安全を確認できる唯一の場であり、そうした場への誘客が新しい販路開拓と、地域の面的な観光開発の可能性を秘めており、過去の「閉じた河和田」から「開かれた河和田」への転換が活性化への鍵となります。

②後世に伝える持続可能な「住・自然環境」の充実

世界的な環境問題に対する関心は、これまで日本人が自然との共存生活の中で育んできた、知恵や知識、自然観の中に、その解の可能性があります。

例えば、100年以上豪雪に耐えてきた古民家が伝える住環境や、それらが織成す景観や漆器をはじめとした伝統産業への積極的な木材資源の利用など、これらを可視化できる有形無形の資産を活用することで、自然環境の保全はもとより、世界的な価値観とのマッチングや、低迷している林業の改善など、河和田ならではの持続可能な環境づくりとして、名実の伴った取組みを目指します。



伝統的民家

③新しい「縁・賑わい」の創出

河和田アートキャンプに参加する学生を一例に、これまで地域とは「無縁」であった層との交流や関係づくりに向けたソフトプログラムを考えます。

その要となるのが、河和田に暮らす人々の「人情」や「もてなしの心」といった“かわだ人”ならではの「人間力」です。例えば、そうした「力」をバネに、河和田に息づく人間力と、現代のIT技術を融合することも1つの方法として、これまでの地縁、血縁といった枠を超えた、新しい「縁」を生むことにより少子高齢化、人口減少に向う日本の中で、地域社会の持続性の担保を目指します。

④誇りと愛着・絆を育む「人」づくり

都市への人口集中や縮小化が進む現代社会において、若年層の地元に対する誇りや愛着の育みが、今後地域社会の基盤となります。子育てにふさわしい教育環境や生活環境など安全、安心、健康を担保しながら、更なるプラスαが求められる時代です。

この河和田では、都市部にはないしっかりとした地縁コミュニティがあり、その強みを残しつつも、都市的なセンスや世界にむけた先進性を内包させた仕組みづくりをすることで、若年層の地域に対する「誇りと愛着、地域の絆」づくりを目指します。

4 具体的な取り組み

(1) モノ：職と食、ものづくりの見える化

●「見える化」拠点の整備

数多くの職人が戸々の家に工房（職人工房）を持ち、町なかにその産地独特の雰囲気漂わせています。しかし、これまではOEMでの受注生産ということもあり、来訪者への観光・購買目的とした地域側の準備ができていないのが現状です。ある意味で、安易な観光化が進んだ高度成長期に開発がされていないことが、逆に「職人の里」として「古き良き雰囲気のある里」としてのイメージを壊さない、伝統と文化の香りを河和田地区が残す事ができたともいえるのではないのでしょうか。こうしたオリジナルの町並みの雰囲気を壊すことなく、安易な商業化に走らない観光地化への開発配慮が必要となります。

→職人工房の改修支援

来訪者が暖簾をくぐる感覚で、作業現場である工房に気軽に入りやすい環境整備を行います。

→商人問屋の改修支援

来訪者がウインドショッピングを楽しめるような、気軽に入りやすい環境整備を行います。

●ものづくりの新たな発見と可能性の創出

伝統的な産業を守り、他地域にPRしながらも現代的視点を取り入れることで、地域産業の可能性の幅を広げます。新たな視点から商品企画を行いPRする事は重要です。

また、積極的に外部の会社や起業者を受け入れ、まちに新たな風を吹かせ、ものづくりの相乗効果を図ることも必要となってきます。

→ビジネス支援

新たに河和田で仕事をしたい人を受け入れることにより、ものづくりへの新たな発見を誘発し、躍進したものづくりのまち、河和田を目指します。

→お土産品の開発支援

河和田らしさをアピールできるお土産品の開発を行います。

→地域産業のPR支援

漆器産業をはじめ、他地域とは特化したものづくりの産地として、地域産業をアピールします。

(2) マチ：生活空間と自然環境のネットワークづくり

●歴史的な町並みの整備

河和田地区には河和田町中道通りや大門通りを中心に、そのわき道にいたるまで、軒下工房など漆器にまつわる様々な職人・商人が暮しつつ仕事をしている「生きた町並み」として、大きな魅力が点在しています。また、１００年以上豪雪に耐えてきた古民家が立ち並び、来訪者に対しても心和む風景の印象を与えます。

→歴史的な景観保全

河和田の風土資産ともいえる伝統的な家並みや集落の美しい風景の保存

→統一されたサイン計画

来訪者がどういう場所かを容易に判断できるサインデザイン

→回遊性のあるルートの整備

まちのスポットを迷わず巡ることができるルート整備

●交流広場の整備

地域資産を活かしながら、まちの人と来訪者が交流することができる環境を、次世代を考慮し変化していくニーズに対応できるよう整備します。

→既存施設の環境整備

すでにある施設を活かして、屋外で交流できる場所を整備します。

→次世代的交流広場施設の整備

変化していくニーズに対応できる交流広場を整備します。

(3) コト：かわだ賑わい空間づくり

●古民家、空き家リノベーションによる賑わい拠点の整備

地域資産である古民家、空き家、空き地を活用し、地域外から「新しい縁」として来訪する様々な層に対しての窓口として、外部者を受入れる「賑わい創出空間」を整備します。

→古民家・空き家、空き地の再生計画

古民家、空き家、空き地を状況に応じてリノベーションし、様々な用途として再活用します。

●賑わい拠点活用による交流とおもてなしプログラムの実施

整備した空間にソフトプログラムを用意し、来訪者に河和田を体験してもらえる環境をつくれます。同時に、そのような空間があることで河和田の人たちの活動の幅をより広げます。また、河和田で行われる様々なプログラムを、来訪者や河和田の人が容易に情報を得られるように情報環境も整備します。

→イベント企画支援

かわだ流のおもてなしイベントを企画し、歴史、文化、産業、農業、林業の体験を用意します。

→暮らしを楽しむイベント企画支援

河和田の暮らしをより楽しめるようなイベントを実施します。

→情報発信支援

河和田の魅力を広範囲で共有できるような情報発信システムを構築します。

(4) ヒト：おもてなしからつながりへ、絆を育む「かわだ人」づくり

●かわだを担う「かわだ人」の育成

高齢化が進む河和田の中で、産業の後継者が不足していることはもちろんですが、まちの未来を担う人材が不足していることも事実です。また、産業の後継者増加を考えると、もう少し開けた世界を用意することが重要になってきます。そして、今後はまち全体の事を総合的な視野で考えることができる人材を育成する必要があります。それと同時に取組全体の中で、訪問者に対してまちをガイドできる人材は欠かせません。

→ものづくりの後継者育成

狭き門と思われがちな職人の世界を開けた世界とし、興味のある若者がチャレンジしやすい環境をつくれます。

→まちづくりの人材育成

次世代を見据えて、まちがどうあるべきかを考え、行動ができる人材を育成します。

→ガイドの育成

総合的にかわだのまちを案内できる人材を育成します。

→地域の一体化

事業計画のビジョン共有が必要となります。このプロジェクトを契機に地域住民各位の悉皆的なワーキングとビジョンの模索、そして地域戦略として立てていける仕組みづくりにチャレンジしていきます。

5 計画の推進体制

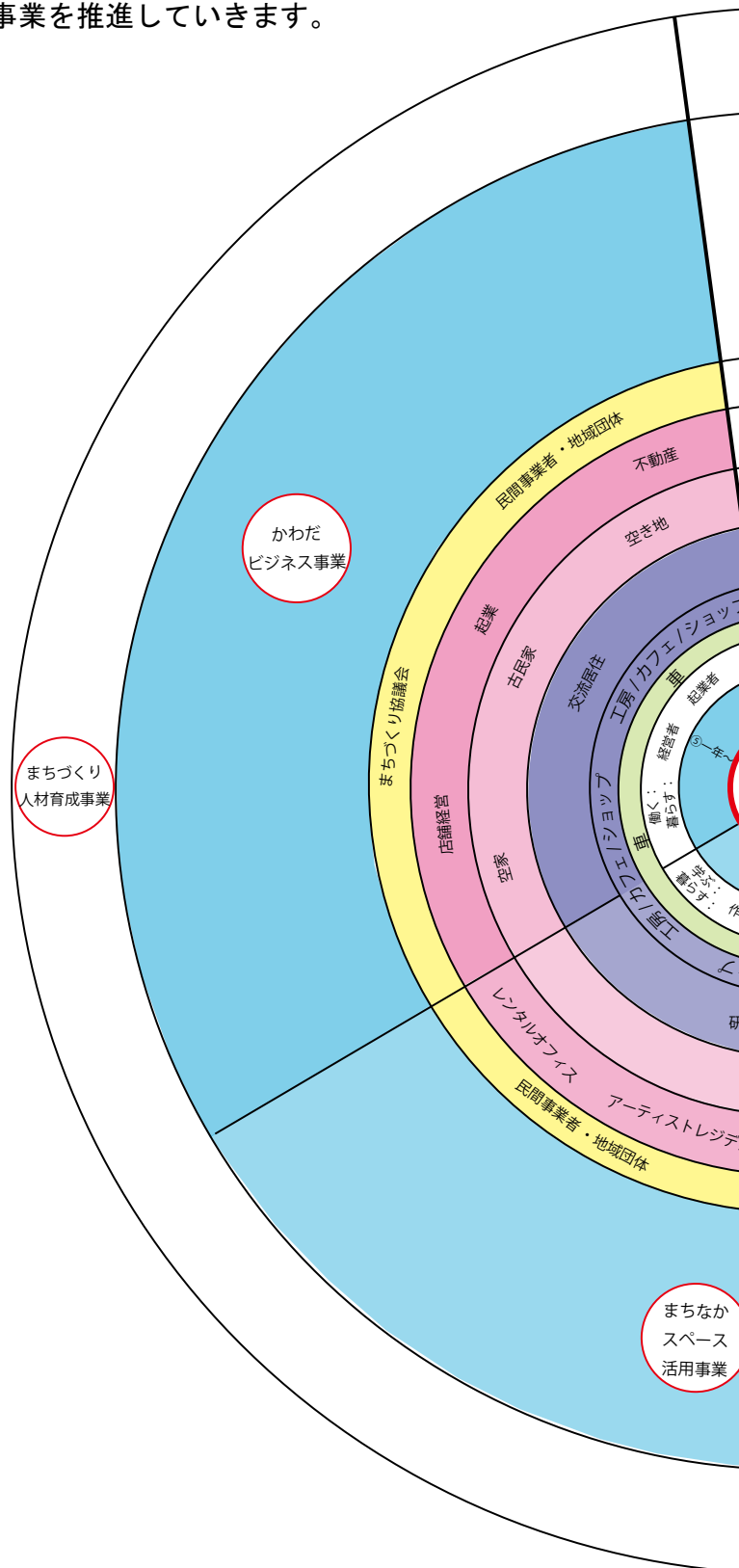
(1) 地域と行政が協働で取り組む事業内容

「うるしの里かわだ元気再生プロジェクト」は地域主導で事業展開していくことを基本として、行政がやるべきことと地域がすすめていくことの役割を明確にし、この計画の目指すべき理念である、新たな鯖江市の交流・定住人口の拠点としての「かわだ」の再価値化による、「交流人口の増加」を目指し、ともに情報を共有し連携しながら事業を推進していきます。

そのための、具体的事業内容は次のとおりです。

■事業全体マトリックス図

市民ワークショップ結果から導かれた
事業案（16案）を来訪者の滞在時間
別に整理した分類表



1 ものづくり“見える化”を推進する

目的

①河和田地区に訪れる様々な人々（観光、帰省、訪問、商談など）が、地区の商工産業（眼鏡や漆器産業をはじめ物販・飲食）の製造段階から販売に至る過程の全てにおいて、気軽に「見学・学び・購入」ができる“来訪者受入れの為の環境整備”を行うことで、地域の観光化や販売促進を図ります。

②工房や作業所において、職人との交流や気軽に産業体験ができる「楽しむ時間」の創出や、各種販売店においては、気軽に立ち寄りくつろげる「ゆとり時間」の創出により、交流人口増加と、来訪者の滞在時間の延長を図ります。

キーワード

まちへ
開く

体験

交流
・
おもてなし

滞在時間

環境づくりのポイント

路面
整備

統一
サイン
/ 照明

工房の
統一性

良質な
デザイン

実施事業内容

【工房リノベーション事業】

・河和田地区全域を対象とした、眼鏡や漆器産業の工房、作業所や各販売店など、職人との交流や身近に産業体験ができるよう、工房の見える化、入りやすさに配慮した店舗改修支援を行います。合わせて基本的な改修デザインも検討します。

◇実施期間：平成 25 ～ 27 年

◇事業主体 / 支援メニュー： 市 / 補助金 → 実施：事業者・個人



2 新“かわだビジネス”を支援する

目的

- ①河和田から生まれる様々な、「ものづくり（＝眼鏡・漆器・農産物の6次産業など）」を、統一ブランドとしてパッケージ化することで「かわだ」の知名度UPを図ります。
- ②地元の企業や生産者と、河和田に関心のある新しい風（例：河和田アートキャンプOBORGや、河和田を拠点として起業を考える事業者など）とのタイアップにより、新規事業の開発などに伴う地場産業の活性化と、ものづくりを通じた交流・定住人口増加を図ります。
- ③河和田に興味があり、移住を考える人の相談窓口や住宅紹介を行うことで、定住人口の促進を図ります。
- ④地域産業のPR活動を行うことにより、世間に広く河和田の素晴らしい技術を発信していきます。

キーワード

技術

発見

交流
・
相乗効果

発信

環境づくりのポイント

情報
システム
整備

企画
開発
サポート

住居
サポート

良質な
デザイン

実施事業内容

【かわだブランド事業】

- ・ 地域資源を活かした「かわだブランド」商品等の企画、開発、販売をします。
- ・ 河和田の職人の技術や古道具などを、新商品の開発や産業体験など他分野への活用を図り、技術版「かわだブランド」を確立します。
- ・ 河和田の伝統料理などの商品化と商標登録の支援を行います。（例：山うに、桑茶など）
- ・ 南青山 291 への出品、提供（試食）など、河和田への誘客のステップとして出張 PR を行います。

◇実施期間：平成 26 ～ 27 年

◇事業主体 / 支援メニュー： 市 / 補助金 → 実施：事業者・団体



2 新“かわだビジネス”を支援する

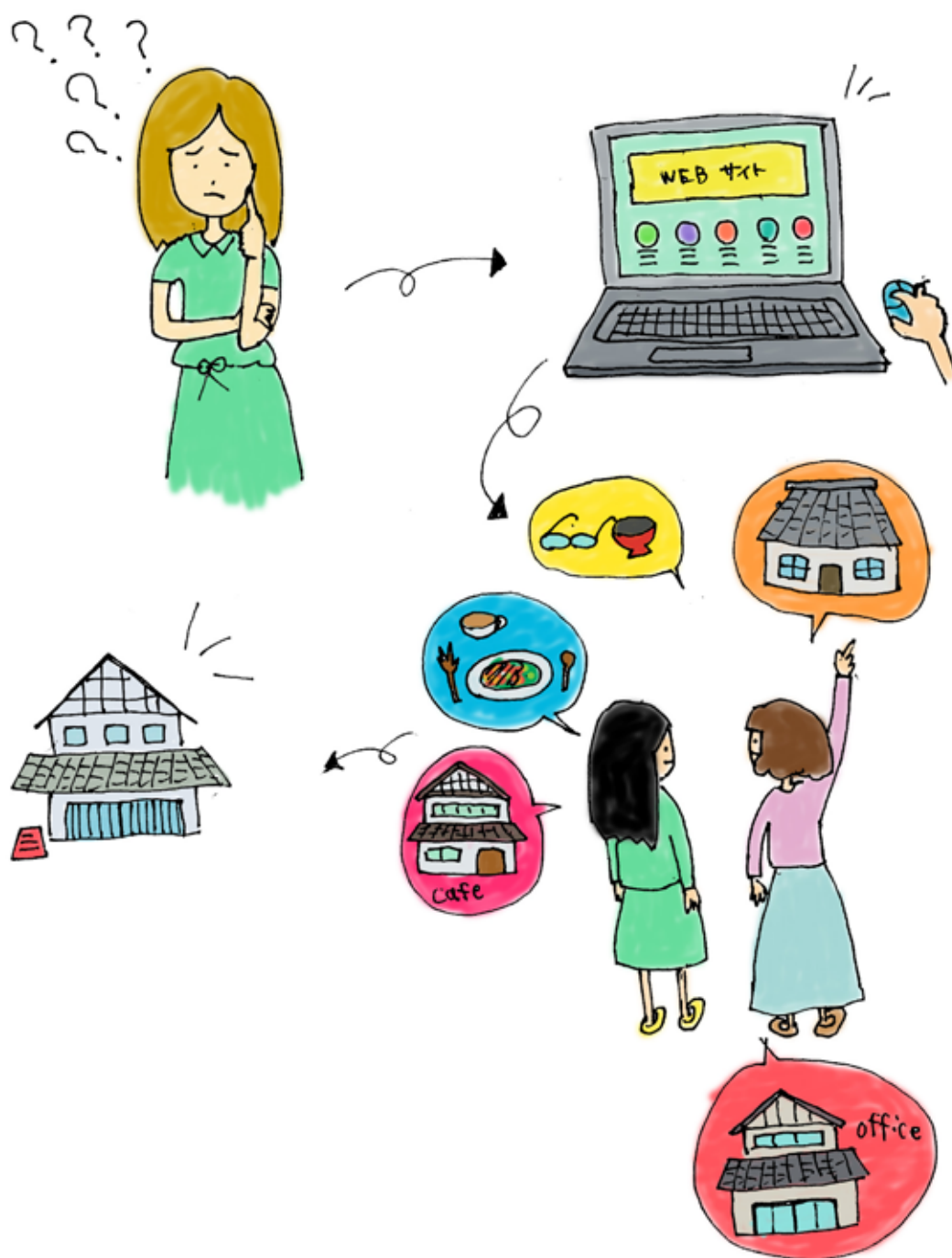
実施事業内容

【かわだビジネス事業】

・河和田で起業したい人や働きたい人に対して、移住促進補助および不動産情報の発信など、河和田での暮らしをサポートします。

◇実施期間：平成 26 ～ 27 年

◇事業主体 / 支援メニュー：市 / 補助金 → 実施：事業者・個人



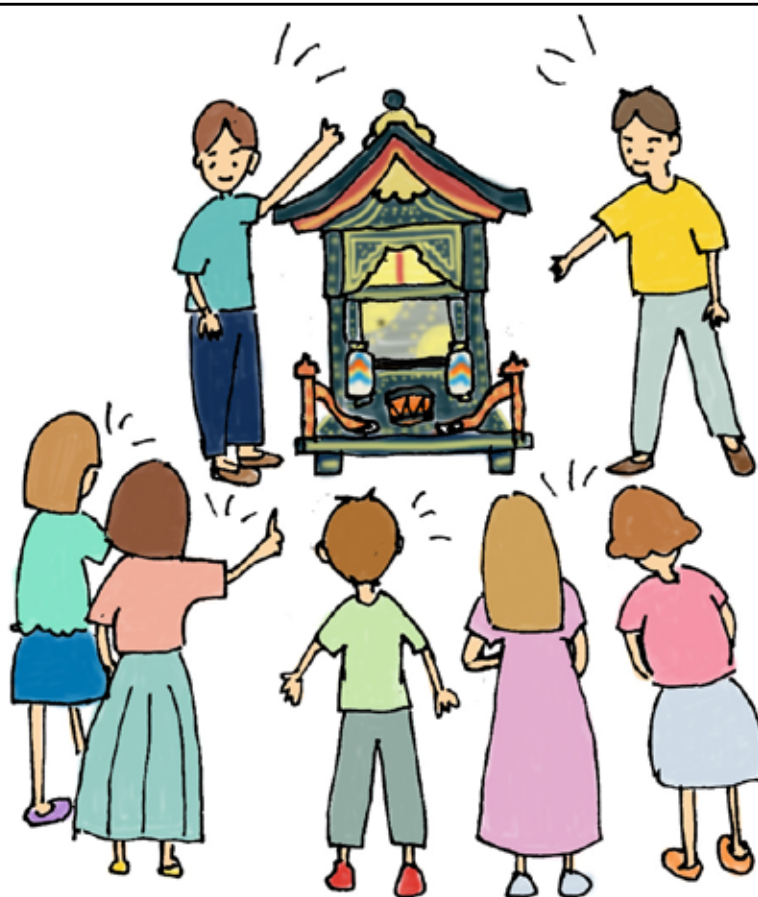
実施事業内容

【地域産業 PR 事業】

- ・越前漆器、眼鏡、農業、林業等の匠の技術を全国各地の人々に、実際に見て、触れてもらい、次回は河和田に来て体験してもらうことにつなげる PR 活動を行います。
(例：河和田への誘客に向けたミニ越前塗山車による産地技術の PR や産業観光推進 PR など)

◇実施期間：平成 25 ～ 27 年

◇事業主体 / 支援メニュー： 市 / 補助金 → 実施：事業者・団体
市 / 直営



3 まちの“楽しさをデザイン”する

目的

①河和田の住民が「地域の誇り」と感じ、来訪者が「心の故郷＝日本らしさ」と感じられるような町並みを、次世代へ継承できるように風土資産を保全しながらも、時代に遅れをとらない新しい時代感覚も織り交ぜた景観整備を行うことで、新旧様々な彩をもった「住みたいまちづくり・景観づくり」を図ります。

②河和田のまちを歩いて楽しむことが出来る「回遊ルート」をつくる（設定する）ことで、地域の観光ポイントを明確化し、来訪者へ向けた PR 素材の強化と共に、滞在時間延長を図ります。

キーワード

風土
資産

現代的
視点

滞在
時間

発信

環境づくりのポイント

情報
システム
整備

統一
サイン
/ 照明

路面
整備

良質な
デザイン

実施事業内容

【町並み景観デザイン事業】

- ・越前漆器の技術を施した統一性店舗看板（サイン・ロゴ）などを制作します。
- ・伝統的町並みを活かした良好な景観を整備します。

◇実施期間：平成 26 年～ 27 年

◇事業主体 / 支援メニュー： 市 / 補助金 → 実施：事業者・個人
学生との連携
市 / 直営



実施事業内容

【かわだ遊び歩き事業】

- ・河和田地区各所に点在する産業・自然文化の風情が残る施設や、口碑・清水といった歴史的名所や散策スポットなどを案内する看板を設置し、うるしの里会館やラポーゼかわだといった地域の拠点施設を出発点とした回遊ルート（路面整備・サイクリングロード他）を整備します。

- ・回遊ルートを巡るためのレンタサイクルを整備します。

◇実施期間：平成 26 年～ 27 年

◇事業主体 / 支援メニュー： 市 / 直営
学生との連携



4 “遊びの空間”を形成する

目的

①地域資産（中山公園、筋生田スキー場、尾花キャンプ場、ラポーゼかわだ周辺、その他自然環境など）について、地域内の子供から大人、或いは来訪者が年間を通じて集える利用方法を集約・整備することで、更なる有効活用と宿泊観光客増加を図ります。

②次世代の交通手段を考慮し、EV車に対しての環境整備など最低限のインフラの整備を行い、災害時はまちの避難場所へと変化させます。また、先進的に環境へ配慮することで、観光客増加および近隣地域への立ち寄り増加による交流人口の増加を図ります。

キーワード

EV 車

RV
キャンプ交流
・
おもてなし

発信

環境づくりのポイント

情報
システム
整備インフラ
整備環境
配慮良質な
デザイン

実施事業内容

【交流広場整備事業】

- ・ 筋生田スキー場を芝生化し、環境イベントの開催や遊び場として年間を通して利用できるよう整備します。
- ・ 中山公園を滞在型公園として、既存のスポーツ施設と組み合わせて楽しめるアウトドア空間を整備します。
- ・ 既存施設敷地内にRVキャンプ場を整備すると同時に、EV車向けのEVスポットも整備します。
- ・ 河和田へ来る人の大半が車であるために、今後増加するEV車対策としてまちの中の空きスペースを利用してEVスポットを設置するなど、災害時にもまちの中が避難場所として利用できるインフラ整備を行います。

◇実施期間：平成26～27年

◇事業主体／支援メニュー： 市／補助金 → 実施：事業者・個人
学生との連携
市／直営



5 “賑わい交流づくり”を推進する

目的

- ①地域の風土資産である「古民家」を有効活用し、地域の伝統文化体験や継承をはじめ、町並み景観保全に伴う観光資産化などを図ります。
- ②空き工場や空き地および耕作放棄地など、多くの空きスペースを有効活用し、人口過密地や地価高騰地では実現困難な面的事業を行うことで、都市部との差別化を図ります。
- ③地域内外の学生交流活動や企業研修企画などにおもてなしを活用することで、交流人口の増加を図ります。

キーワード

新たな
縁

古民家
・
空家

交流
・
おもてなし

交流
居住

環境づくりのポイント

情報
システム
整備

不動産

リノベー
ション

良質な
デザイン

実施事業内容

【まちなかスペース活用事業】

- ・古民家を人々の交流や活動の拠点として活用できるようにするための施設を整備します。
- ・まちに点在する空きスペースを活用した面的事業を行い、都市部の人と河和田の人が交流する拠点となる環境を整備します。
- ・古民家（空家含）を会場に、地域文化を伝えるおもてなしや農家民宿として河和田での農業・工芸・自然・歴史を体験出来るツーリズム事業を企画運営します。

◇実施期間：平成 25 ～ 27 年

◇事業主体 / 支援メニュー： 市 / 補助金 → 実施：事業者・個人
学生との連携



6 地域がひとつになった“おもてなし”を推進する

目的

- ①河和田の地域資源（人・もの・自然・歴史・文化）をフルに活用し、四季を通して河和田に訪れてもらえる“おもてなし”事業を企画、提供し、河和田のすばらしさをPRすることで来訪者（観光客など）をはじめとした交流人口の増加を図るとともに、リピート河和田運動を展開します。
- ②出会いと交流機会の場の創出により、河和田の若人の婚活を支援し出生率と人口の増加を図ります。
- ③web サイトや新しい形の情報発信を構築し、うるしの里かわだ元気再生プロジェクト事業全体の広報を図ります。

キーワード

新たな
にぎわい

情報
発信

交流
・
おもてなし

地域
資源

環境づくりのポイント

情報
システム
整備

ボラン
ティア

多目的
スペース

企画
サポート

実施事業内容

【かわだイベント企画事業】

・プロジェクト事業全体の中で環境整備した施設と既存の宝を活用した、おもてなしイベントを開催します。

◇実施期間：平成 26 年～ 27 年

◇事業主体 / 支援メニュー：市 / 補助金 → 実施：事業者・団体
学生との連携



実施事業内容

【かわだメモリアル事業】

・福井豪雨から 10 年、河和田アートキャンプ 10 年を迎える平成 26 年を河和田メモリアルイヤーとして位置づけ、交流イベントを開催します。

◇実施期間：平成 26 年～ 27 年

◇事業主体 / 支援メニュー：市 / 委託料 → 実施：事業者・団体
学生との連携



6 地域がひとつになった“おもてなし”を推進する

実施事業内容

【かわだ学校事業】

- ・ “かわだ人”を先生とする体験型教室を開催し、楽しい学びの場「楽校」としての交流づくりを実施します。

◇実施期間：平成 26 年～ 27 年

◇事業主体 / 支援メニュー：市 / 補助金 → 実施：事業者・団体



実施事業内容

【かわだまち婚事業】

- ・ 出会いと交流の機会を創出し、河和田の魅力発信につながるイベントを開催します。

◇実施期間：平成 26 年～ 27 年

◇事業主体 / 支援メニュー：市 / 補助金 → 実施：事業者・団体



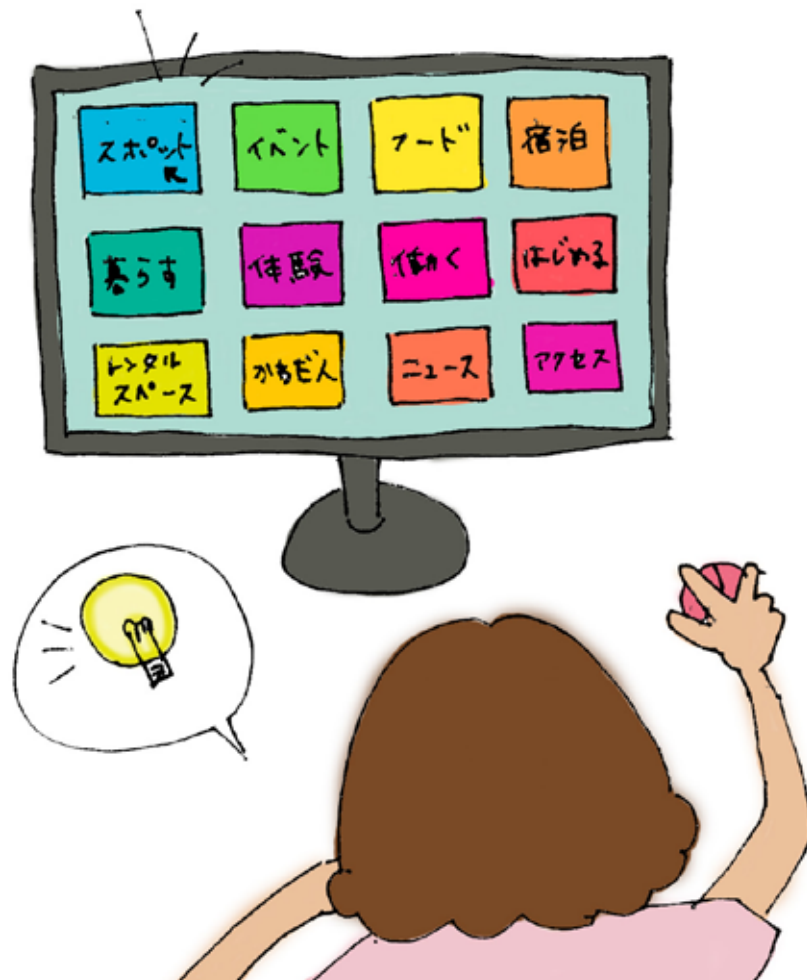
実施事業内容

【情報発信事業】

- ・プロジェクト事業の情報発信に関わる環境整備や各種調査および情報コンテンツを開発します。

◇実施期間：平成26年～27年

◇事業主体／支援メニュー：市／委託料 → 実施：事業者・団体
市／直営



7 自信と愛着にみちた“かわだ人”を育てる

目的

①地区内の史跡名勝や伝統文化、また古民家を利用したショップやギャラリー、カフェ、飲食店などの観光案内ができる地域ガイド等により、河和田の魅力を対面で来訪者に伝えることで、紙面では伝えにくい情報発信を図ります。

②河和田の産業・伝統・文化・歴史・自然のことを知り、“語り部”のような人材を育成するとともに、来訪者のみならず地域内の若年層へも河和田の魅力を伝え、河和田に対する「誇り」や「愛着」「郷土心」を育み、河和田のまちづくり後継者としての人材育成を図ります。

キーワード

愛着

後継者

交流
・
おもてなし地域
ガイド

環境づくりのポイント

情報
システム
整備ボラン
ティア人材
育成連携
関係

実施事業内容

【かわだボランティアガイド育成事業】

・すでに活躍している方を含め、老若男女を問わず、かわだボランティアガイドを組織します。
また、河和田地区内の商店等をまちの案内所として開放できるよう、地域ぐるみでのプロジェクト賛同者を募ります。

・かわだボランティアガイドをきっかけに、地元の多くのみなさんが“かわだファン”として、プロジェクトに参画できるよう、事業推進に向けたバックアップ体制を広げます。

◇実施期間：平成 26 年～ 27 年

◇事業主体 / 支援メニュー：市 / 委託料 → 実施：団体



7 自信と愛着にみちた“かわだ人”を育てる

実施事業内容

【かわだまちづくり人材育成事業】

・プロジェクト事業の推進および終了後、地域が一体となったまちづくりを運営していくにあたり、そのリーダー的存在を含め、これからのまちづくりを担う人材を育成します。

◇実施期間：平成 26 年～ 27 年

◇事業主体 / 支援メニュー：市 / 委託料 → 実施：団体



実施事業内容

【かわだ産業人材育成事業】

- ・ものづくり産業の後継者を育成します。
- ・地域産業に携わる若手職人が参画する各種コンペや他産地・異業種交流会を企画運営します。

◇実施期間：平成 26 年～ 27 年

◇事業主体 / 支援メニュー：市 / 補助金 → 実施：事業者



(2) 推進のための体制づくり

「うるしの里かわだ元気再生プロジェクト」を実施していくためには、河和田地区住民を中心に設立される運営組織が必要となります。事業の企画、実行、人的な運営、全体的な経営、将来計画の作成など、これらの実施の中心的役割を担うことが求められます。

このプロジェクトを推進するための体制づくりとして、次のように計画の準備段階、環境整備の実施、自立してのまちづくり運営の3段階に分けられます。

■平成24年～平成25年「計画策定と先行的推進事業の実施」

地域住民参加による計画策定後は、地域主体となった計画推進母体となる運営組織の設立の検討および組織の活動拠点となる施設を整備します。また、プロジェクト推進に当たり、先行的に事業実施することで、波及的に効果を及ぼすと考えられる事業については順次着手します。

■平成26年～平成27年「プロジェクトによる下地づくりと運営の移管」

計画に基づく、地域の宝を積極的に活用した交流事業や環境整備事業を実施するとともに、このプロジェクトを民間が組織する団体で自活できるよう準備を進めます。

■平成27年～「自活するうるしの里かわだ」

民営で自活でき、長期的な事業計画をもち、地域がひとつとなった安定的な運営を行います。

推進のための体制づくりは、以上の段階に合った形態をとることが望ましい。そして最終段階では、行政の手を離れて民営として独立した組織となることが基本的な考え方です。市の財源によって運営するのではなく、一般の企業と同様に、収益をあげることによって経営していくことが必要です。

(3) 数値目標

うるしの里かわだ元気再生プロジェクトの推進には“オールかわだ”で一致団結して取り組むことが重要です。また、地域が目標達成を目指し、施策の成果や達成度を確認するためには、数値目標の設定が必要となります。しかし今回は、プロジェクト期間中は将来のまちづくりを見据えた仕掛けづくりの期間と考え、数値目標の設定については、地域主導での“継続”が求められる中、将来計画も踏まえた事業運営を進めていく過程で設定したいと考えます。

以下にあげる項目は、数値目標を設定する上で考えられる主な項目例です。

■河和田地区に訪れる平成 30 年度の年間観光客数（交流人口）

■工房の見える化や賑わい交流拠点施設の整備・改修支援の実施件数

■河和田地区を巡る回遊ルートの選定箇所数

■地域資源を活かした賑わい交流づくりへの都市部住民の参加者数

■地域住民の企画による四季を通したおもてなしイベントの年間開催数

■ボランティアガイドなど“かわだ人”の育成数

■情報発信サイトの年間アクセス数

6 資料編

(1) 計画策定に向けた参考資料

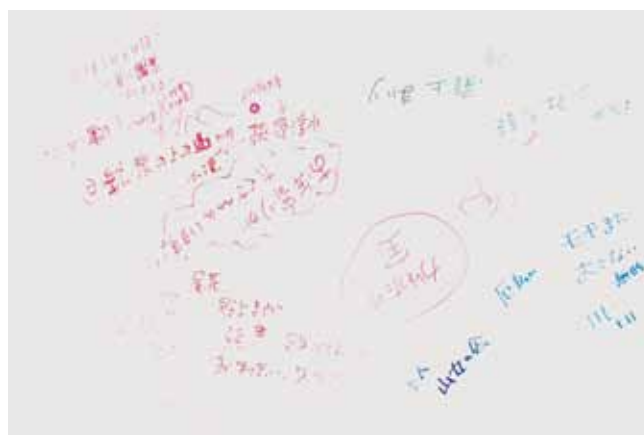
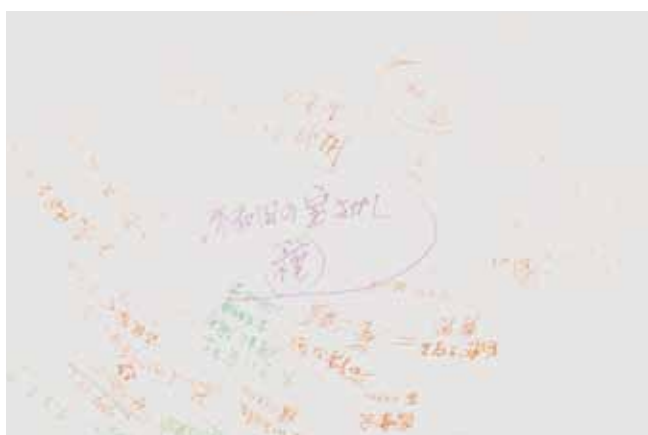
計画策定までの流れ

ーうるしの里かわだ元気再生プロジェクトー

計画策定委員会およびワークショップ詳細スケジュール

月日	内容	備考
H25. 5. 29	■第1回うるしの里かわだ元気再生プロジェクト計画策定委員会 ・プロジェクトの概要および委員会の進め方について説明	
H25. 6. 13	第1回全体ワークショップ ・「ワールドカフェ」の手法を用いて、地域住民参加の下、「河和田の宝」についての提案と自由な意見交換を行う。	※2回のWSで、延べ82名が参加。521項目の宝を抽出
H25. 6. 20	第2回全体ワークショップ ・第1回に続き、「ワールドカフェ」の手法を用いて、地域住民参加の下、「河和田の宝」についての提案と自由な意見交換を行う。	
H25. 6. 28	■第2回うるしの里かわだ元気再生プロジェクト計画策定委員会 ・2回の全体ワークショップでの意見集約結果の報告 ・プロジェクトの方向性の確認	
H25. 7. 16	第1回テーマ別（モノ・マチ）ワークショップ ・プロジェクトの方向性と全体ワークショップでの意見を参考に、「モノ・マチ」をテーマに提案事業の検討を行う。	※2回のWSで、延べ44名が参加。46事業がWSから提案される。
H25. 7. 18	第2回テーマ別（コト・ヒト）ワークショップ ・プロジェクトの方向性と全体ワークショップでの意見を参考に、「コト・ヒト」をテーマに提案事業の検討を行う。	
H25. 7. 30	■第3回うるしの里かわだ元気再生プロジェクト計画策定委員会 ・テーマ別ワークショップの提案事業の報告 ・提案事業をプロジェクトの方向性を鑑み、7つの施策として分類。 ・施策ごとの事業概要について説明し、内容を協議し事業を絞り込む。	
H25. 8. 8	第3回テーマ別（モノ・マチ）ワークショップ ・7つの施策から、全体で16の具体的事業（案）を作成し、その内「モノ・マチ」7事業について、経緯と事業内容について説明 ・7つの具体的事業（案）について、実施主体および事業工程など詳細について協議	※2回のWSで、延べ36名が参加。
H25. 8. 9	第4回テーマ別（コト・ヒト）ワークショップ ・7つの施策から、全体で16の具体的事業（案）を作成し、その内「コト・ヒト」9事業について、経緯と事業内容について説明 ・9つの具体的事業（案）について、実施主体および事業工程など詳細について協議	
H25. 8. 28	■第4回うるしの里かわだ元気再生プロジェクト計画策定委員会 ・事業展開に向けた考え方を、マトリックス図を用いて整理 ・事業案を含めた計画書の概要について、説明および最終協議 ・計画書の全体概要について、委員会にて承認	
H25. 9. 25	■第5回うるしの里かわだ元気再生プロジェクト計画策定委員会 ・計画書最終案を提示	

第1回、2回全体ワークショップの風景



■第1回、2回全体ワークショップの総合集計結果

職	総合				実				芽				種			
	1位	2位	3位		1位	2位	3位		1位	1位	1位		1位	1位		
	越前漆器	幅広い技術	職人		越前漆器	幅広い技術	漆器職人		新しい販路	ファッショ	工場見学		新しい販路	土産		
	8	5	4		8	5	4		1	1	1		2	2		

自然	総合				実				芽				種			
	1位	2位	3位		1位	2位	2位		1位	1位	2位		1位	2位		
	蜜	河和田杉	水（清水）		蜜	河和田杉	水（清水）		蜜	牛	ヤギ		桑	河和田杉		
	14	8	7		10	6	6		4	4	3		5	2		

食	総合				実				芽				種			
	1位	2位	2位		1位	2位	3位		1位	2位	3位		1位	2位		
	ジビエ料理	山菜	漆器利用の環境		山菜	野菜	山うに	喫茶 椀	漆器利用の環境	ジビエ料理	ハープ		ジビエ料理	カミ・ゆずなど		
	15	6	6		5	4	3	3	6	5	3		5	3		

職
「実」では、漆器や作る技術、職人の存在などが上位にあり、芽や種においては、工場見学や新たな販路といった、既存の形ではない視点が挙がっていることから、それぞれ「宝」としての位置付けは成されている。本表にはなかった（別紙個別集計参照）が、メガネに対する意見も挙がっている。 また今回は、漆器や眼鏡が生活に近すぎた為か、当該事業と職業との接点が見えにくかった為か、意見の総数は少なめであったが、今後のワークショップや策定会議において、まだまだ可能性のある事業提案が意見として挙がってくる余地があると思われる。

自然
河和田の自然を示す要素が上位にランクインしている。 実、芽、種の順に新規に取組みの始まっている植樹、動物利用の面などが挙がっており、河和田の持つ自然環境の豊かさが伺える。 本表にはなかった（別紙個別集計参照）が、オシドリをはじめ、多様な動植物の名前があり、それらの発展性・可能性も十分に感じられる。 また河和田杉が、種としてランキングされていることから、杉木を新たな資産として転換するアイデアを深めることも一考。 ワークショップの意見としては、2番目に多く、地区民の自然環境に対する関心が高いことが伺える。

食
傾向としては、山の幸である動植物の可能性（ジビエ＋山菜）を、多くの方が「宝」と感じられている。また、食べ物だけではなく、漆器を用いた食文化形成を含めた6次産業化の視点が伺える。 今回は、桑茶がランクインされていないが、本紙の「自然」の中に、桑に関する提案が挙がっている（植樹など）が、それらは明らかに、桑茶をはじめとした商品の「地産地消」を目指したものと考えられる。 その他、区内にある飲食店に対する声もあり、外部から来られる方や地区内にお住まいの方へ「食サービス」の必要性も伺える。 傾向としては、山の幸である動植物の可能性（ジビエ＋山菜）を、多くの方が「宝」と感じられている。また、食べ物だけではなく、漆器を用いた食文化形成を含めた6次産業化の視点が伺える。 今回は、桑茶がランクインされていないが、本紙の「自然」の中に、桑に関する提案が挙がっている（植樹など）が、それらは明らかに、桑茶をはじめとした商品の「地産地消」を目指したものと考えられる。 その他、区内にある飲食店に対する声もあり、外部から来られる方や地区内にお住まいの方へ「食サービス」の必要性も伺える。

場所	総合			
	1位	2位	3位	
	活用 古民家・空家	中山公園活用	鉱泉活用	
	28	24	16	

実				芽					種				
1位	1位	2位		1位	2位	3位	3位	3位	1位	1位	2位	2位	3位
ラポーゼ	鉱泉	里山		活用 古民家・空家	山や川	清水	中山公園	うるしの里会館	活用 古民家・空家	中山公園	鉱泉	里山	回遊性のあるコース
8	8	6		15	4	3	3	3	8	8	6	6	5

文化	総合			
	1位	2位	3位	
	おこない	雪あそび	殿上参り	
	12	7	6	

実				芽					種				
1位	2位	2位		1位	2位	2位			1位	1位	2位	2位	
おこない	雪あそび	殿上参り		狂言	寺行事	三社太鼓			口碑・伝説	各種教室	雪あそび	音楽界	
12	5	5		4	2	2			3	3	2	2	

人	総合			
	1位	2位	2位	2位
	こども	人情	ガイドボランティア	定住促進
	5	4	4	4

実				芽					種				
1位	2位	2位		1位					1位	1位	2位	2位	
人情	優しさ	老人		こども					ガイドボランティア	定住促進	こども	仕事づくり	
4	3	3		2					4	4	3	3	

場所
今回のワークショップでは、「場所」に対する声が圧倒的に多くあり、古民家・空家をはじめ、公園や自然資源の利用率向上を求める声が挙がっている。 総合ランキングも重要であるが、実、芽、種とそれぞれにランキングに挙がっている要素は、どれも地域の目玉になる素地があり、今後の策定委員会、ワークショップで綿密に議論を重ねる必要があると考えられる。 また、今本表にはでなかった(別紙個別集計参照)が、その他多数の場所について、他の分類と比較しても票数が多く、ランク外の場についても十分な検討が必要と考えられる。

文化
多くの伝統行事や芸能が現代にも継承されており、多くの意見が集まった。全項共通して「雪＝冬」に対して、何か起爆剤にならないかと考えられている。 また、餅まきをはじめとした「おこない」は奇祭的な要素も十分にあり、地域住民の意識以上に、地域外の来訪者が楽しめる祭事であり、誘客要素としての可能性は高い。 その他、アートキャンプや中道アート、音楽祭など比較的新しい地域活動もあり、新旧それぞれの役割をもって、誘客の核となる要素があることが伺える。

人
ここでは、河和田人の気質に関する情報や個人名が挙がるほどの地域性が見られた。 特に1項目に特化集中する要素はみられなかったが、定住者促進やボランティアガイドといったように、地域外への目線が伺われた。 なかなか表面化しにくい「人」に対する意見が多く挙がっていることは大変興味深く、本質的には一番大切な「宝」である「人」を如何に事業化するかは、今後の策定委員会、ワークショップにて内容を深めていく価値があると考えられる。

■ワールドカフェ ワークショップ概要
 今回のワークショップは「かわたの宝さがし」と称して、3つのテーマ。「実：既にある宝」「芽：これから育つ宝」「種：あったらいいなと思う宝」で開催しました。会は、20分1ラウンド×3回で行い、毎回テーブルで話しをする相手が変わる任意の会で実施しました。
 また、上記にある6つの振分けは、総数521項あった意見から導かれた、意見の分類であり予め準備された分類ではありません。

■本紙情報について
 ここに集計されている情報は、今後の策定委員会及び市民参加型ワークショップにて事業計画策定にあたっての基礎情報となります。区民皆さんに提示して頂いた、「宝」をもとに、今後、策定される提案を考える鍵としてお考え下さい。
 また、この分類については、上記の通り、あくまでも521項を整理したものですので、必要に応じて、仕分け可能であるご理解下さい。
 上記意見(情報)の組合せや仲間分けは、自由に読み替えて頂いて結構です。

資料01

分類別 回答数集計							
合計	職	自然	食	場所	文化	人	
521	全体総合	34	93	74	183	79	58
255	実	24	50	38	74	45	24
137	芽	4	31	25	50	14	13
129	種	6	12	11	59	20	21

第1回、2回全体ワークショップ個別集計結果

集計結果：職／職業に関するお話し 分類：漆器／メガネ／農業・他					漆器産業									メガネ産業		その他		
					越前漆器	技術力	職人	漆かき	山車	販路	ファッション	後継者育成	キャラグッズ	メガネ	工房見学	農業	土産	その他
			全	34	8	5	4	1	1	3	2	1	1	3	1	1	2	1
			実	24	8	5	4	1	1	0	1	0	0	3	0	1	0	0
			芽	4	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	1
			種	6	0	0	0	0	0	2	0	1	1	0	0	0	2	0
130613-実																		
職	18	越前漆器	4	4														
		幅広い技術	3		3													
		漆器職人	2			2												
		メガネ	2									2						
		軒下工房	1			1												
		百姓の素晴らしさを分かって欲しい(食糧難なんて怖くない！)	1												1			
		農業	1															
		手仕事	1		1													
		モノ作り(産業)	1			1												
		お椀・器	1	1														
		山車	1				1											
130620-実																		
職	7	漆器	2	2														
		漆のアクセサリー	1						1									
		伝統技術によるデザインカ	1		1													
		メガネ	1									1						
		越前塗りの器	1	1														
		漆がき	1				1											
130613-芽																		
職	3	漆をファッション業界で活かす	1						1									
		めがね工房の見学	1										1					
		3S+アルファーでもっと輝く。それは何か？	1															1
130620-芽																		
職	1	漆器の製造・販売	1						1									
130613-種																		
職	6	後継者が育つこと	1								1							
		お食初めの漆器の食器の販路開拓	1					1										
		お土産	2														2	
		越前漆器のキャラクターを作る。(グッズを販売)(優良店会のスタンプ台紙に利用	1									1						
		漆やメガネの販路	1					1										
130620-種																		
職	0		0	0														

集計結果：自然／自然・生態に関するお話し 分類：環境／植物／動物				環境			植物										動物								
				水	土	その他	木					竹	山菜	花	カタクリ	牛	ヤギ	鹿	鳥類	昆虫	サワガニ				
				桃源三塚坂			河和田杉	桜・漆	油桐	ゆず	桑	バイオマス			中山公園				オシドリ	他	蜜	他			
			全	93	7	2	9	8	1	1	5	3	3	1	3	4	5	3		5	10	14	6	2	
			実	50	6	0	3	6	0	0	1	0	2	3	0	1	3	1	0		4	6	10	3	1
			芽	31	1	1	4	0	1	1	0	0	0	1	1	1	4	3		1	4	4	3	1	
			種	12	0	1	2	2	0	0	0	5	1	0	0	1	0	0		0	0	0	0	0	
130613-実																									
自然	24	おいしい水(清水) [すべての生命線] [中山公園トイレ裏] [桃源] もっとキレイに	6	6																					
		平家堂(一タニシーカワニナ)	4																		4				
		蜜	3																		3				
		杉の木	3				3																		
		敷山神社のサワガニ(漆かぶれに効く)	1																				1		
		カタクリ群生、カンアオイ(ギフチョウの食べる葉)(中山公園)	2												2										
		人と自然の共生	2			2																			
		アオサギのコロニー(東清水町)	1																	1					
		自然	1			1																			
		オシドリ	1																1						
130620-実																									
自然	26	河和田杉	2				2																		
		カタクリ	1												1										
		オシドリ	3																3						
		ホタル	3																		3				
		材木	1				1																		
		ゆずの木(植樹する必要あり)	1							1															
		カブト虫	1																			1			
		クワガタ	1																			1			
		牛の放牧	1														1								
		アジサイを山に植える	1											1											
		材林(バイオマス)	2									2													
		竹	3										3												
		アカショウビン	1																	1					
		サンコウチョウ	1																	1					
		フクロウ	1																	1					
		ギフ蝶	1																			1			
		アオバスク	1																	1					
		ヌエ(鱒)	1																	1					
130613-芽																									
自然	18	ハナミズキ	1												1										
		エンマコオロギ	1																			1			
		蜜の産卵探し	1																		1				
		中山公園カタクリ群生は光を与えようと育つ	1												1										
		ヤギ	2														2								
		若狹牛	2																						
		ギフ蝶	1														2					1			
		サンコウチョウ(鳥)	1																		1				
		アカショウビン(鳥)	1																		1				
		トラツグミ(鳥)	1																		1				
		アオバスク(鳥)の営巣	1																		1				
		油桐の木(道具を研ぐのに使用したとか)	1							1															
		自然環境を生かした町づくり	1				1																		
		牛、ヤギと戯れる、セラビー(動物園のような)	2														2								
		エコな草刈	1				1																		
130620-芽																									
自然	14	ホタル	3																		3				
		桜の木	1					1																	
		サワガニ	1																				1		
		雨後の匂い	1				1																		
		名水	1		1																				
		土づくり	1			1																			
		ヤギとハーブ	1																						
		山に囲まれ霧がキレイ	1				1											1							
		日本かもしか	1															1							
		山菜	1											1											
		スズ虫、松虫	1																			1			
		おしどり	1																1						
130613-種																									
自然	5	桑の木の林を作る。	1								1														
		漆の木の林を作る。	1								1														
		耕作減地解消プロジェクト(雑草をひまわり、コスモスに変える。)	1			1																			
		フラワーランド、町を花一杯、ガーデンの町	1												1										
		ピコ発電	1				1																		
130620-種																									
自然	7	桑を育てる	1								1														
		桑の葉	2								2														
		バイオ燃料	1									1													
		土と山に親しむ観光	1				1																		
		河和田杉のブランド化	2				2																		

■第1回、2回全体ワークショップ個別集計結果

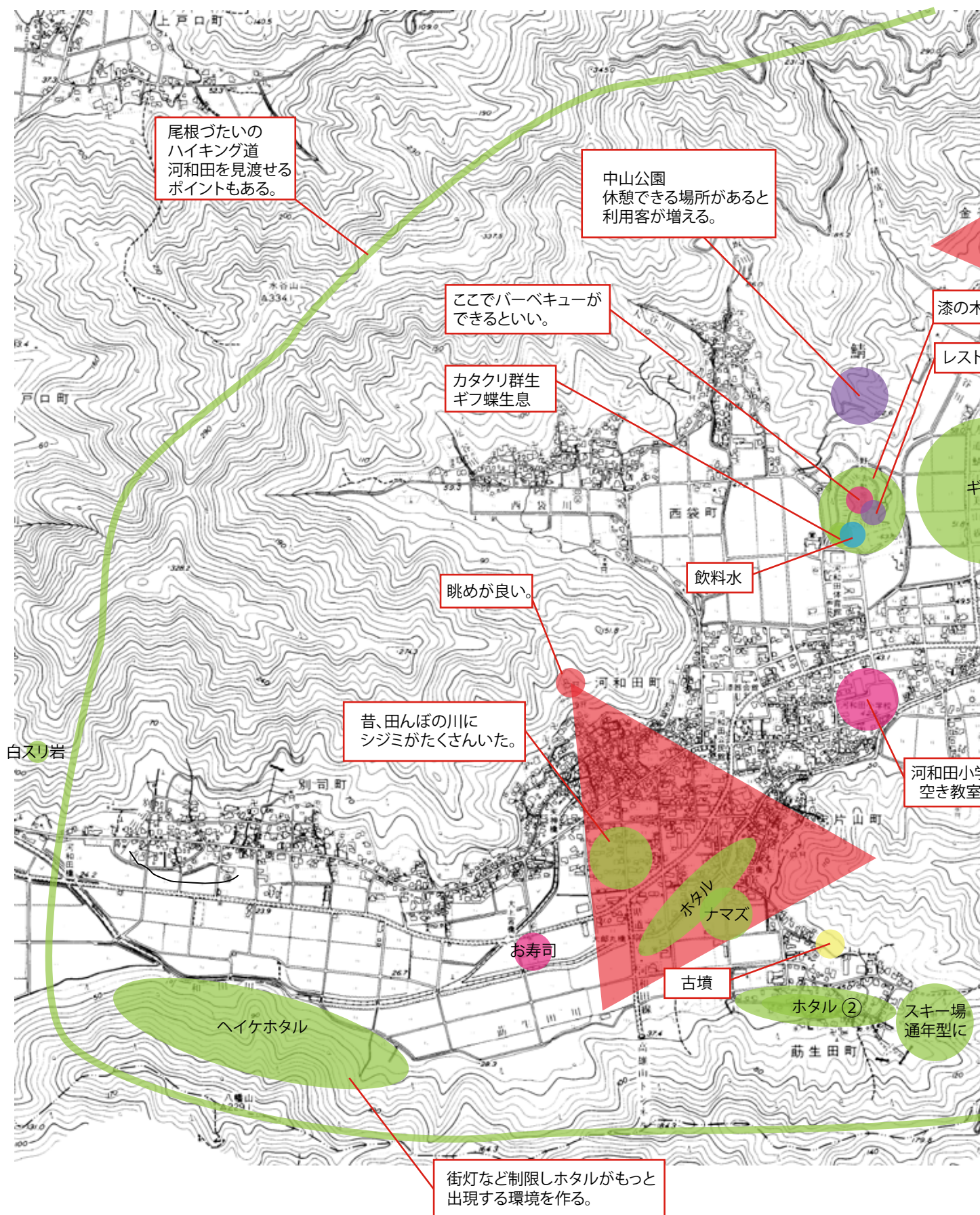
集計結果:食／食に関するお話し 分類:素材／加工品／料理／飲食店				素材						加工品						料理						飲食店・ほか					
				野菜	米	ゆず	ハーブ	山菜	その他	山うに	蕎麦	餅	たい焼き	酒	桑茶	柿の葉茶	伝統料理	田舎料理	ジビエ料理	喫茶喫茶	こま膳	カフェ	漆器使用	その他			
							ハーブティー												イノシシ	脂	他						
			全	74	4	4	1	4	6	2	5	1	2	1	1	3	1	4	3	10	3	2	3	2	1	6	5
			実	38	4	2	0	1	5	2	3	1	2	0	1	2	1	2	1	2	1	2	3	2	0	0	1
			芽	25	0	1	0	3	1	0	2	0	0	1	0	1	0	2	2	5	0	0	0	0	0	6	1
			種	11	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	0	0	0	1	0	3
130613-実																											
食	13	やまうに(伝承料理)	1								1																
		米	1		1																						
		柿の葉茶	1											1													
		料理が上手な婦人多い	1																								1
		大嶋梅酒	1										1														
		ずしーこま膳ー	2																			2					
		田舎料理	1													1											
		喫茶喫茶	1																	1							
		伝承料理	1												1												
		お蕎麦	1								1																
お餅(かき餅、ぼた餅)	1									1																	
		ぜんまいの豆和え(伝承料理)	1						1																		
130620-実																											
食	25	伝統料理	1															1									
		ジビエ	1																	1							
		喫茶 椀椀	2																		2						
		草餅ーなべしもち	1								1																
		熊	1																1								
		マムシ	1																	1							
		イノシシ	2																2								
		ハーブ	1				1																				
		野菜(収穫体験を行うのはどうか)	4	4																							
		くわ茶	2											2													
		やまうに	2								2																
		地産地消	2							2																	
		お米	1		1																						
キノコ	1					1																					
		山菜(山菜取りの体験など行えばいいのではないか)	3				3																				
130613-芽																											
食	10	イノシシ肉の料理開発	1															1									
		イノシシ肉のソーセージ(お土産に)	1															1									
		自家製味噌	1														1										
		やまうにを使用した料理の一般募集する。	1							1																	
		ハーブ	2				2																				
		家庭で食事に漆器を使用	1																					1			
		漆のお弁当箱	1																					1			
		たい焼き	1									1															
		生ごみリサイクル	1																					1			
130620-芽																											
食	15	報恩講料理	1													1											
		小学校給食で使われている食器	1																						1		
		いのしし料理	1																1								
		山菜とり体験ツアー	1					1																			
		漆器と御膳料理	1													1											
		山うに	1							1																	
		毎週漆器を用いる	1																					1			
		普段使いの漆器(食器洗いOKのモノあり)	1																					1			
		桑の葉	1											1													
		ハーブティー	1					1																			
		東清水町のお米	1		1																						
		イノシシがたくさんいる	2															2									
		郷土料理	1													1											
		日常生活の中での重箱用法	1																					1			
130613-種																											
食	3	飲み会にケーション	1																							1	
		高齢者向けのカフェ	1																				1				
		河和田地区B級グルメ開催	1																						1		
130620-種																											
食	8	ゆず	1				1																				
		ピアガーデン	1																						1		
		熊	1																1								
		しし鍋	1																								
		熊肉	1																	1							
		イノシシ料理	2															2									
				お米	1		1																				

■第1回、2回全体ワークショップ個別集計結果

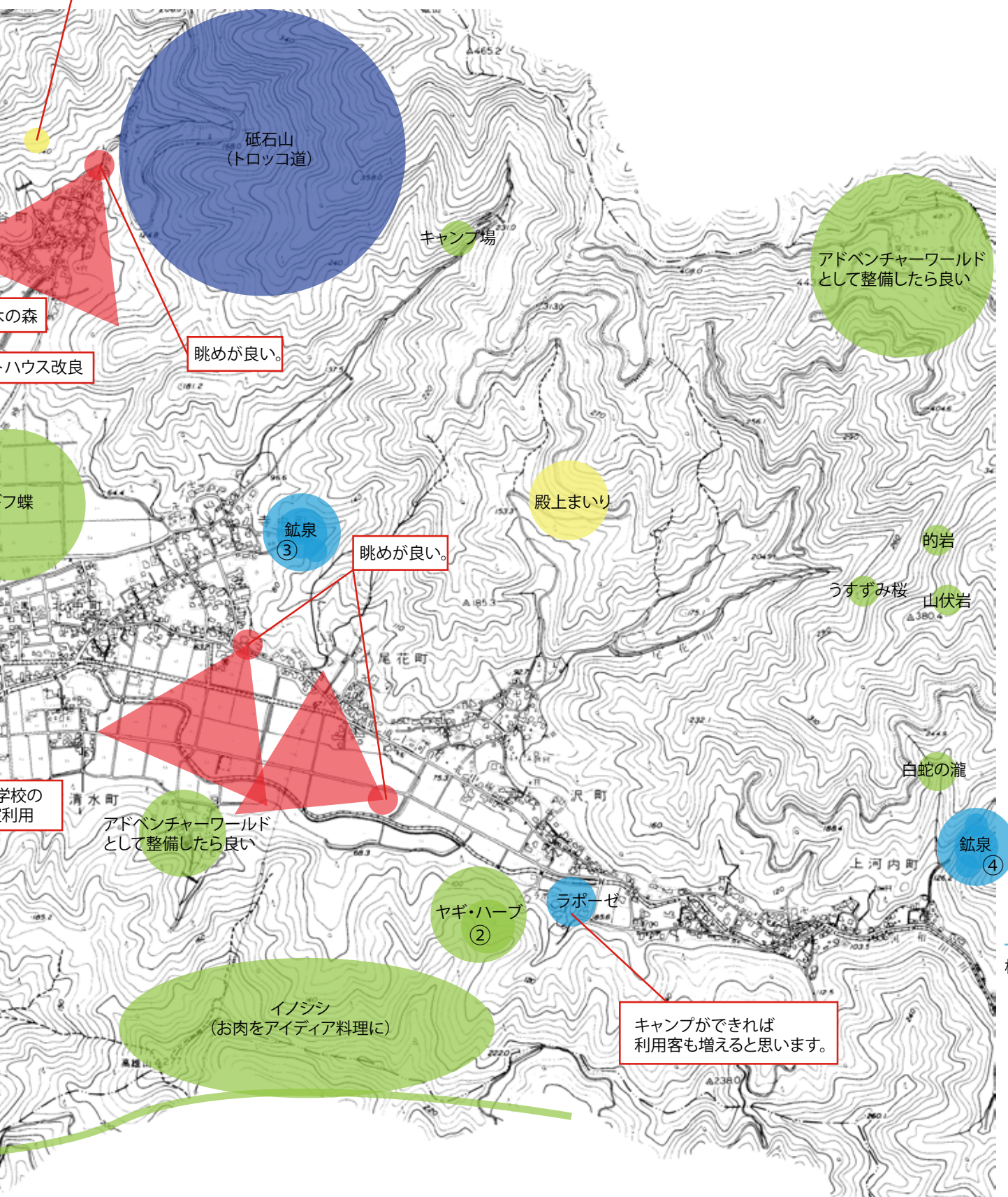
集計結果：文化／文化・生活に関するお話し 分類：伝統行事／古典・芸能／暮らし／歴史／催し／施設				伝統行事																	古典芸能			暮らし			歴史			催し				文化施設		その他
				殿上参り	おこない	やんしき踊り	こんか虫送り	夏祭	寺行事	三社太鼓	報恩講	絵馬	厄払い	茶事	狂言	舞楽	雪遊び	遊び	漆器	その他	口碑伝説	観体大王	その他	アートキャンプ	中道アート	音楽会	各種教室	美術館	集会場							
		餅つき																																		
			全	79	6	8	4	2	2	2	2	3	3	1	1	3	5	2	7	2	0	3	4	1	3	3	1	3	3	1	1	3				
			実	45	5	8	4	2	2	2	0	1	2	1	1	2	1	2	5	1	0	3	0	0	2	1	0	0	0	0	0					
			芽	14	1	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	1	0	0	0					
			種	20	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2	1	0	0	3	0	1	1	0	2	3	1	1	3				
130613-実																																				
文化	34	尾花町、伝統行事、殿上参り、村祭り	4	4																																
		雪・雪遊び(カマクラ、竹スキー、雪合戦)	4													4																				
		もちつき・もちまき	4			4																														
		おこない(河和田、北中山の他)	2		2																															
		茶事	2									2																								
		雅楽(守るべきもの)	1													1																				
		衆人(守るべきもの)	1													1																				
		絵馬	1												1																					
		やんしき踊り(住民のほとんどが踊れる)	1			1																														
		報恩講さん	2								2																									
		別司の祭り盛ん	1					1																												
		アートキャンプ	1																				1													
		夏祭り全地区が協力的	1					1																												
		区の防災訓練	1																	1																
		シャリノリ	1														1																			
		中道アート	1																					1												
		狂言のおばちゃん	1												1																					
こんが虫送り	1					1																														
雪遊び(かわら倒し、地面取り、ハシン、ビー玉、あやとり、お手玉、ゴム綱)	1															1																				
殿上参り	1	1																																		
キッズやんしき	1				1																															
河和田弁	1																		1																	
130620-実																																				
文化	11	山女の会	1																1																	
		おこない	6		6																															
		アートキャンプによる地域住民との交流	1																			1														
		こんか虫送り	1				1																													
		厄払い	1									1																								
		三社太鼓	1							1																										
130613-芽																																				
文化	13	殿上まいり(伝統行事厄払い)	1	1																																
		狂言「差師平六」	1										1																							
		民俗資料としての本地づくり	1																		1															
		狂言おぼの会を広めて定着させる	3										3																							
		河和田の文化を生かした町づくり、行事(行い、祭り、水)がよい、自然との共生を考えた地域づくり	1					1																												
		河和田ベンチャーズ	1																							1										
		太鼓	1							1																										
		日本文化の復活	1																			1														
		継体大王とまんた姫伝説(1500年の歴史)	1																	1																
口碑伝説看板の利用	1																	1																		
三社太鼓	1							1																												
130620-芽																																				
		お寺行事	1						1																											
130613-種																																				
文化	12	茶道の古典芸能の融合	1											1																						
		昔の遊びを今の子供たちと一緒に行ってはどうか	1														1																			
		自然とアートモノづくりの学校を建てる。(小学校の空き室を利用)	1																								1									
		吹雪ツアー	1															1																		
		雪下ろし体験	1															1																		
		ファッションタウン構想	1																																	
		寺子屋	1																																	
		口碑伝説の看板めぐりツアー	2																	2																
		音楽の好きな人が集まる場所を作る	1																							1										
		若者の集い場	1																																	
		うるしの里会館で蒔絵の天井を見ながらペビーヨガ教室	1																									1								
		130620-種																																		
文化	8	河和田歴史本	1																		1															
		河和田美術館	1																											1						
		河和田のゆるキャラ	1																												1					
		アートキャンプ	1																			1														
		大人の遊び場をつくる(BMX、モトクロス、スケートボード、etc)	1																												1					
		音楽会	1																								1									
		河和田の口碑伝説を編集	1																	1																
		報恩講―地域コミュニティ	1									1																								

[illegible]

■うるしの里かわだ元気再生プロジェクト実施エリア 第1回・2回全体ワークショップ マッピング集計



朝倉義景の財宝を守るために白蛇が住む穴があると言われている。



第1回・2回テーマ別（モノ／マチ・コト／ヒト）ワークショップの風景





■第1回・2回テーマ別（モノ / マチ・コト / ヒト）ワークショップ集計結果

4 分類	投票数	事業名	事業内容	モノ	マチ	コト	ヒト	合計
マチ	4	ラポーゼ宿泊施設新提案事業	戸建てハウスの設置。(ツリーハウスを作る。)		1			1
マチ	4	桃源清水の整備事業	ログハウス・トイレの設置。ドライミスとの設置。噴水の設置。		1			1
マチ	4	自然学校事業	豊富な水を活用し、ビオトープを拠点としキッズスクール、農体験、ネイチャーキャンプに親しみをもてる空間づくり。蜚を育てる教育。(水辺のデザイン)地域の方を先生にオープンプログラムを設立。(子育てに有効)		1			1
マチ	14	空きスペース事業	古民家の活用。(店舗利用、マンスリーショップ、飲食店、交流拠点、定住者へ住居提供、ネイチャ/カルチャースクール、イベントの開催等)		1			1
マチ	6	アウトドアを楽める環境整備	ラポーゼ周辺にオートキャンプ場、アスレチックの整備、釣り堀の復活再開トレッキング(ハイキング)コース、サイクリング等。		1			1
マチ	1	散策コースの設置事業	口碑伝説めぐり。		1			1
マチ	0	回遊性を活かした環境整備	案内看板の統一、古民家、空家を活用したカフェ、蕎麦屋などの地産地消の飲食店。それらを案内できるボランティアガイドの育成。		1			1
マチ	14	RV、オートキャンプ設置事業	中山公園のイベント場の再開発。穏やかな時間を過ごせるリゾート化計画(公園、本屋)、RVステーション設置。(キャンパー人口が増加しているところに目を付け、河和田の自然、文化、産業の発信源になってもらえるよう、整備する)		1			1
マチ	6	スキー場の整備事業	年間を通じて利用できるよう設備を整える。(夏はキャンプ場、グラススキー)		1			1
モノ	1	かわだプロダクト事業	地場の技術を活かした商品開発。(例)メガネ素材を使った土産品。気軽なギフト価格の漆器商品。技術を他分野で活かす。	1				1
モノ	7	産業観光事業	漆器、眼鏡など工房見学。工房ショップの支援。作家がこもれる工房。	1				1
モノ	1	かわだツーリズム事業	工房ショップの整備(職人と直接会話ができる。オーダーメイド等)、おこないを利用した観光ツアー、野菜マーケットをフリーマーケットに変える。	1				1
モノ	4	古民家、空家を活かした合宿体験	音楽会等の開催。	1				1
モノ	6	「桑、ゆずの木」里親事業	空き地、遊休農地を活用した桑、ゆずの木の里親制度を作る。さらにそれらを活用した商品開発。	1				1
モノ	3	地場フード事業	桑茶、やまうにのような地場のものをさらに栽培、開発し、観光資源に育てる。	1				1
モノ	2	商標GETプロジェクト事業	やまうにや地場の食べ物の商標登録を行う。	1				1
モノ	1	特産品オリジナル商品化	やまうに、清水、そば、桑茶などの特産品を商品化に向けて研究開発に取り組み、情報発信を行う。	1				1
モノ	5	かわだイメージ作り事業	web、フリーペーパーによる情報発信、ゆるキャラ開発、風景を満喫できる回遊コースづくり。	1				1
モノ	4	人材育成事業	河和田を案内できる「かわだソムリエ」の育成(ボランティアガイド)若手の職人、デザイナーが交流できる場を作る。(後継者の育成)	1				1
モノ	3	漆器産業後継者育成事業	漆器の使われ方を若い職人に知ってもらう事業。(例)茶道文化、懐石料理、書道、筆道。	1				1
モノ	2	漆芸展(全国規模)	若手職人が参加しやすい、コンペを開催。他産地との交流事業。	1				1

4 分類	投票数	事業名	事業内容	モノ	マチ	コト	ヒト	合計
コト	7	2拠点オフィス	サテライトオフィス、デュアルオフィスとして古民家を利用してもらう、都市部とかわだの間で人の行き来が起る環境を整える。また古民家を積極的に利用することで、古民家を守っていくことが出来る。			1		1
コト	3	バイクカフェ事業	ツーリング、モトクロスを楽しむ人をターゲットにおもてなしをし、交流の場として認知してもらう。			1		1
コト	2	学校の誘致事業	大学、専門学校のサテライトキャンパスを設備する。特にデザイン、工芸の分野を誘致し、既存の工房を活用したデザイン、工房スタジオをつくる。			1		1
コト	2	アパート建設事業	記述なし。			1		1
コト	0	かわだオーナー制度事業	耕作放棄地や空き地を貸し出し、「実のなるかわだづくり」に取り組んでもらう。			1		1
コト	6	レンタル工房事業	工房を貸し出し、かわだ以外の職人を呼び込み、職人の増加による町の活性化を目指す。(漆器体験や田舎暮らし体験を経てなんちゃって職人を生む)			1		1
コト	0	農家民宿改造事業	来たお客様が少しづつ民家を改善する。田舎の親戚の家に来たように思わせる、おもてなしも用意する。			1		1
コト	5	エコミュージアム事業	かわだ全体を生きた博物館にする。そのために統一されたデザインの看板配置や、町並み整備。古民家を活用して農具、民具の展示を行う。			1		1
コト	2	中道アート事業	アート作家の創作活動を表現できる場づくり。工房見学、玄関前を整備し花などを植えるなど、見られることを意識する運動。			1		1
コト	2	楽しんで、安心して歩ける街中づくり事業	来訪者がトイレの心配をしないで済む整備づくりをし、歩いて楽しむことができるまちづくり。(まちなかアートギャラリー、ボランティアガイドの配置等)			1		1
コト	8	中山公園を活かした野外活動事業	キャンプ、バーベキュー、星空、螢、ギフ蝶、カタクリ、自然を活かしたイベントや、良い環境の中でのコンサート開催や、ドックラン(テニスコート横)の整備。			1		1
コト	5	筋生田スキー場を活かしたアウトドア事業	バーベキュー、キャンプ、グラススキーが行えるように整備する。スキーリフトの改善、花火大会の開催。			1		1
コト	2	交流の場づくり事業	筋生田スキー場や公園など、里地、里山を活用し、遊びながら交流できる場づくり。			1		1
ヒト	6	かわだ版街コン	結婚したい人を支援するオープンな組織作りをし、婚活イベントを行う。				1	1
ヒト	5	かわだビジネス	地域のニーズに合わせた事業おこし、かわだ独自の何かを事業化する。				1	1
ヒト	3	リブ・イン・かわだ事業	かわだから人が外へ出ていかなようにする委員会などを立ち上げる。なぜ、かわだから人が出ていくのかを考える。				1	1
ヒト	1	職人技術の新しい使い方検討委員会事業	日用品からアート作品の幅広いなかで、職人の技術を活用していく。				1	1
ヒト	0	古道具のリノベーション(活用法)事業	河和田にある技術と古道具で作れる新しいプロダクト作り。若手のデザイナーを呼び込む。				1	1
ヒト	4	情報発信事業	マスコミへの売り込み				1	1
ヒト	5	ボランティアガイド事業	かわだの歴史勉強会、おもてなしの心を育む。				1	1
ヒト	2	ネイチャーガイド事業	昔の遊びや刃物の使い方などを教えることが出来る人が若いお父さん、お母さんに伝える。				1	1
ヒト	2	おもてなし事業	ボランティアガイド、語り部の育成、宿泊体験ツアーの実施				1	1
ヒト	4	伝承料理普及事業	かわだの伝承料理をさらに魅力あるものにするために、料理の指導者を呼び、かわだの人により伝承料理を伝える。				1	1
ヒト	4	伝統文化事業	おこないのPR、街中コンサート、狂言の演劇などの文化活動。				1	1
ヒト	3	かわだの未来を担う後継者育成事業	かわだの資源をよく知ってもらい、環境に貢献できる伝統文化の体験を若い人い対して行う。				1	1

第3回・4回テーマ別（モノ／マチ・コト／ヒト）ワークショップの風景





第3回・4回テーマ別（モノ／マチ・コト／ヒト）ワークショップ集計結果

4 分 類	投票 数	事業名	事業内容	基本施策(取り組み)	事業目的	事業概要	事業主体 (案)／ 支援メ ニユー (案)	事業期間
モノ	6	レンタル工房事業	工房を貸し出し、かわだ以外の職人を呼び込み、職人の増加による町の活性化を目指す。(漆器体験や田舎暮らし体験を経てなんちゃって職人を生む)	1	ものづくり“見える化”を推進する	【工房リノベーション事業】 河和田地区全域を対象とした、自社の工房・作業所や各種販売店などの店舗改修支援。 ※基本的な改修デザインの検討(工房の見える化、入りやすさ等)	市/補助金 ↓ 事業者・個人	H25～27
モノ	7	産業観光事業	漆器、眼鏡など工房見学。工房ショップの支援。作家がこまれる工房。			・工房や作業所において、職人との交流や気軽に産業体験ができる「楽しむ時間」の創出や、各種販売店においては、気軽に立ち寄り、くつろげる「ゆとり時間」の創出により、交流人口増加と、来訪者の滞在時間の延長を図る。		
モノ	1	かわだツーリズム事業	工房ショップの整備(職人と直接会話ができる。オーダーメイド等)、おこないを利用した観光ツアー、野菜マーケットをフリーマーケットに変える。					
モノ	0	かわだオーナー制度事業	耕作放棄地や空き地を貸し出し、「実のなるかわだづくり」に取り組んでもらう。			・河和田から生まれる様々な、「ものづくり(＝眼鏡・漆器・農産物の6次産業など)」を統一ブランドとして、パッケージ化することで、「かわだ」の知名度UPを図る。		
モノ	1	職人技術の新しい使い方検討委員会事業	日用品からアート作品の幅広いなかで、職人の技術を活用していく。	2	新“かわだビジネス”を支援する	・かわだの職人の技術、古道具等を他分野でも活用し、新しい商品の制作支援。 ・かわだの伝統料理等の商品化、商標登録の支援。 ※実施に当たっては、実行組織の立ち上げも検討	市/補助金 ↓ 実施/事業者・団体	H26～27
モノ	0	古道具のリノベーション(活用法)事業	河和田にある技術と古道具で作れる新しいプロダクト作り。若手のデザイナーを呼び込む。			・河和田に興味があり、移住を考える人の相談窓口や住宅紹介を行うことで、定住人口の促進を図る。 ・地場産業PR活動(例:ミニ山車の製作等)を行うことにより、世間に広く、かわだの素晴らしい技術を発信していく。		
モノ	1	かわだプロダクト事業	地場の技術を活かした商品開発。(例)メガネ素材を使った土産品。気軽にギフト価格の漆器商品。技術を他分野で活かす。			【かわだビジネス事業】 かわだで起業したい人や働きたい人の支援。 ・上記の人々への移住促進補助および不動産情報の発信支援。※移住者への家賃補助(要件)や移住仲介に対する業者への成功報酬 【越前漆器PR事業】 越前漆器の匠の技術を各地の人々に、実際に見て、触れて、体験してもらえようPR支援。(ミニ山車制作等)		
モノ	6	「桑、ゆずの木」里親事業	空き地、遊休農地を活用した桑、ゆずの木の里親制度を作る。さらにそれらを活用した商品開発。				市/補助金 ↓ 実施/事業者・団体	
モノ	3	地場フード事業	桑茶、やまうにのような地場のものをさらに栽培、開発し、観光資源に育てる。					
モノ	2	商標GETプロジェクト事業	やまうにや地場の食べ物の商標登録を行う。					
モノ	1	特産品オリジナル商品化	やまうに、清水、そば、桑茶などの特産品を商品化に向けて研究開発に取り組み、情報発信を行う。					
モノ	5	かわだビジネス(ビジネス支援事業)	地域のニーズに合わせた事業おこし、かわだ独自の何かを事業化する。					
マチ	5	エコミュージアム事業	かわだ全体を生きた博物館にする。そのために統一されたデザインの看板配置や、町並み整備。古民家を活用して農具、民具の展示を行う。			3	まちの“楽しさをデザイン”する	
マチ	4	桃源清水の整備事業(統一看板など清水ネットワーク)	ログハウスのトイレの設置。ドライミストの設置。噴水の設置。	・河和田のまちを歩いて楽しむことができる「回遊ルート」をつくる(設定する)ことで、地域の観光ポイントを明確化し、来訪者へ向けたPR素材の強化と共に、滞在時間延長を図る。				
マチ	2	楽しんで、安心して歩ける街中づくり事業	来訪者がトイレの心配をしないで済む整備づくり。(まちなかアートギャラリー、ポランディアガイドの配置等)					
マチ	1	散策コースの設置事業	口碑伝説めぐり。					
マチ	0	回遊性を活かした環境整備	案内看板の統一、古民家、空家を活用したカフェ、蕎麦屋などの地産地消の飲食店。それらを案内できるポランディアガイドの育成。					
マチ	3	バイクカフェ事業	ツーリング、モトクロスを楽しむ人をターゲットにおもてなしし、交流の場として認知してもらう。	・地域資産(中山公園、助生田スキー場、尾花キャンプ場、ラポーゼかわだ周辺、その他自然環境など)について、地域内の子供から大人、或いは、来訪者が年間を通じて集える利用方法を集約・整備することで、更なる有効活用と宿泊観光者増加を図る。				
マチ	8	中山公園を活かした野外活動事業	キャンプ、バーベキュー、星空、螢、ギョウ、カタクリ、自然を活かしたイベントや、良い環境の中でのコンサート開催や、ドックラン(テニスコート横)の整備。	4	“遊びの空間”を形成する	【交流広場整備事業】 既存施設(助生田スキー場、中山公園等)のリノベーションとそれらの場所をリンクさせることによる機能集約と整備。 ※実現可能な整備を再検討。あわせて、整備後の施設を来訪者が有効活用できるよう、面的に利用できる仕組みづくりを検討。	市/直営	H26～27
マチ	5	助生田スキー場を活かしたアウトドア事業	バーベキュー、キャンプ、グラススキーが行えるように整備する。スキーリフトの改善、花火大会の開催。					
マチ	2	交流の場づくり事業	助生田スキー場や公園など、里地、里山を活用し、遊びながら交流できる場づくり。					
マチ	6	アウトドアを楽しむ環境整備	ラポーゼ周辺にオートキャンプ場、アスレチックの整備。釣り堀の復活再開(レッキング(ハイキング)コース、サイクリング等。					
マチ	14	RV、オートキャンプ設置事業	中山公園のイベント等の時間外、他でかた時間を過ごすリゾート化計画(公園、本屋、RVステーション設置、キャンパー人口が増加しているところに目を付け、河和田の自然、文化、産業の発信源になってもらえるように整備する)					
マチ	6	スキー場の整備事業	年間を通じて利用できるよう設備を整える。(夏はキャンプ場、グラススキー)					
マチ	2	アパート建設事業	記述なし。					
マチ	4	ラポーゼ宿泊施設新提案事業	戸建てハウスの設置。(ツリーハウスを作る。)					

4 分 類	投票 数	事業名	事業内容		基本施策(取り組み)	事業目的	事業概要	事業主体 (案)/ 支援メ ニユー (案)	事業期間
コ ト	0	農家民宿改造事業	来たお客様が少しずつ民家を改善する。田舎の親戚の家に来たように思わせる、おもてなしも用意する。	5	”賑わい交流”づくりを推進する	・地域の風土資産である「古民家」を有効活用し、地域の伝統文化体験や継承をはじめ、町並み景観保全に伴う観光資産化などを図る。 ・空き工場や空き地、耕作放棄地など、多くの空きスペースを有効活用することで、人口過密地や地価高騰地では実現困難な事業を行うことで、都市部との差別化を図る。 ・おもてなし企画などを活用し、地域内外の学生交流活動企画や企業研修企画などを行うことで、交流人口の増加を図る。	【まちなかスペース活用事業】 ・空きスペースを活用した面的事業を行い、都市部の人/かわだの人が交流できる拠点、環境整備の支援。 ・「古民家」を交流・活動の拠点として活用できるようにする拠点整備支援。 ・環境整備したスペースを利用する、イベント企画、実施の支援。	市/補助金 ↓ 実施/事業者・個人	H25～27
コ ト	7	2拠点オフィス	サテライトオフィス、デュアルオフィスとして古民家を利用してもらう。都市部とかわだの間で人の行き来が起る環境を整える。また古民家を積極的に利用することで、古民家を守っていくことが出来る。						
コ ト	14	空きスペース事業	古民家の活用。(店舗利用、マンスリーショップ、飲食店、交流拠点、定住者へ住居提供、ネイチャー/カルチャースクール、イベントの開催等)						
コ ト	6	かわだ版街コン	結婚したい人を支援するオープンな組織作りをし、婚活イベントを行う。	6	地域がひとつになった“おもてなし”を推進する	・河和田の地域資源(人・もの・自然・歴史・文化)をフルに活用した、“おもてなし”事業を企画し、かわだのすばらしさをPRすることで来訪者(観光客など)をはじめ、交流人口の増加を図る。 ・出会いと交流機会の場の創出により、かわだの若人の婚活を支援し、出生率、人口の増加を図る。 ・四季を通して、河和田を訪れてもらえる催事を企画。(おこない、漆器祭り、ホテルを観る会、アートキャンプ、うるしの里まつり、中道アート、古民家で伝承料理と音楽会など) ・webサイトや新しい形の情報発信を構築し、うるしの里かわだ元気再生プロジェクト事業全体の広報を図る。	【かわだイベント企画事業】 この事業全体の中で環境整備した施設を活用した“おもてなし”イベントの開催支援。 【かわだ学校事業】 かわだ人”を先生とする教室を開催し、学びの場としての交流づくりの支援。 【かわだメモリアル事業】 ・豪雨から10年、アートキャンプ10年を平成26年をメモリアルイヤーとして位置づけ、イベントを開催。 【かわだまち婚事業】 出会いと交流の機会を創出するイベントの開催支援。 【情報発信事業】 各事業の情報発信に関わる環境整備や各種調査、及び情報コンテンツ開発支援。 ※Web、各種情報誌や事業者とのタイアップなどによるプロジェクト事業の発信。以降、継続してかわだ情報を発信する。	市/補助金 ↓ 実施/事業者・団体	H26～27
コ ト	2	中道アート事業	アート作家の創作活動を表現できる場づくり。工房見学、玄関前を装飾し花などを植えるなど、見られることを意識する運動。						
コ ト	3	リブ・イン・かわだ事業	かわだから人が外へ出ていかなようにする委員会などを立ち上げる。なぜ、かわだから人が出ていくのかを考える。						
コ ト	2	おもてなし事業	ボランティアガイド、語り部の育成、宿泊体験ツアーの実施						
コ ト	4	自然学校事業(Kawada Univ)	豊富な水を活用し、ビオトープを拠点としキッズスクール、農体験、ネイチャーキャンプに親しみをもてる空間づくり。道を育てる教育。(水辺のデザイン)地域の方を先生にオープンプログラムを設立。(子育てに有効)						
コ ト	4	古民家、空家を活かした合宿体験	音楽会等の開催。						
コ ト	4	伝統文化事業	おこないのPR、街中コンサート、狂言の演劇などの文化活動。						
コ ト	4	情報発信事業	マスコミ(?)への売り込みー新しい情報発信のかたちを模索する。						
コ ト	5	かわだイメージ作り事業	web、フリーペーパーによる情報発信、ゆるキャラ開発、風景を満喫できる回遊コースづくり。						
ヒ ト	4	伝承料理普及事業	かわだの伝承料理をさらに魅力あるものにするために、料理の指導者を呼び、かわだの人により伝承料理を伝える。	7	自信と愛着にみちた“かわだ人”を育てる	・かわだの伝統、文化、歴史、産業、自然のことを知り、“語り部”のような人材育成を行なう。また、来訪者のみならず、地域内の若年層へもかわだの魅力を伝え河和田に対する「誇り」や「愛着」「郷土心」を育み、かわだのまちづくり後継者としての人材育成を図る。 ・地区内の史跡名勝や伝統文化、また古民家を利用したショップやギャラリー、カフェ、飲食店などの観光案内ができる地域ガイド等により、河和田の魅力を対面で来訪者に伝えることで、紙面では伝えにくい情報発信を図る。	【かわだボランティアガイド育成事業】 地域ガイドの育成/運営支援 ※すでに存在している方を含め、老若男女をとわず、かわだボランティアガイドを組織する。また、河和田地区内の商店等を地域の案内所として開放できるようプロジェクト賛同者(例:かわだファンクラブ)を募っていく。 【まちづくり人材育成事業】 今後のかわだの未来を担ってまちづくりを行う人材の育成/運営支援。 【かわだ産業人材育成事業】 産業後継者育成支援 若手職人が参加しやすいコンペ/交流会の企画/運営の支援	市/補助金 ↓ 実施/団体	H26～27
ヒ ト	5	ボランティアガイド事業	かわだの歴史勉強会、おもてなしの心を育む。						
ヒ ト	2	ネイチャーガイド事業	昔の遊びや刃物の使い方などを教えることが出来る人が若いお父さん、お母さんに伝える。						
ヒ ト	3	かわだの未来を担う後継者育成事業	かわだの資源をよく知ってもらい、環境に貢献できる伝統文化の体験を若い人い対して行う。						
ヒ ト	4	人材育成事業	河和田を案内できる「かわだソムリエ」の育成(ボランティアガイド)若手の職人、デザイナーが交流できる場を作る。(後継者の育成)						
ヒ ト	2	学校の誘致事業	大学、専門学校のサテライトキャンパスを設備する。特にデザイン、工芸の分野を誘致し、既存の工房を活用したデザイン、工房スタジオをつくる。						
ヒ ト	3	漆器産業後継者育成事業	漆器の使われ方を若い職人に知ってもらう事業。(例)茶道文化、懐石料理、書道、華道。						
ヒ ト	2	漆芸展(全国規模)	若手職人が参加しやすい、コンペを開催。他産地との交流事業。						

■うるしの里かわだ元気再生プロジェクト計画策定委員会 委員名簿

団体名	役職等	氏名	備考
河和田地区区長会	会 長	田 中 一 男	委員長
越前漆器協同組合	理事長	土 田 直	副委員長
河和田をよくする会	副会長	白 崎 正 義	
NP0 法人かわだ夢グリーン	理事長	駒 本 長 信	
うるしの里いきいき協議会	会 長	杉 本 颯 子	
河和田地区婦人会	会 長	三 崎 明 美	
河和田優良店会	会 長	田 中 敬 二	
軒下工房	座 長	堀 江 一 男	
中道アート実行委員会	委員長	丸 山 寿 郎	
河和田地区に居住、または 河和田地区の事業所に従事 する方		山 岸 誉	
		蓑 輪 久 範	
		富 田 忠 志	
		斉 藤 亜 紀	
		前 田 智 子	
		山 田 知恵子	
		今 川 心 平	
		永 富 三 基	
河和田公民館		中 西 和 華	
	館 長	真 保 紘 一	

順不同

◆アドバイザー

所属名	役職等	氏名	備考
京都精華大学	非常勤講師	片 木 孝 治	

◆オブザーバー

所属名
福井県総務部市町振興課、文化振興課

◆事務局

所属名	役職等	氏名	備考
河和田コミュニティセンター	館 長	酒 井 誠	事務局
鯖江市秘書企画課	課 長	高 尾 副 次	
鯖江市秘書企画課	参 事	斉 藤 邦 彦	
鯖江市秘書企画課	課長補佐	渡 辺 敏 広	



うるしの里かわだ元気再生プロジェクト計画策定委員会 事務局
【鯖江市政策経営部秘書企画課 TEL 0778-53-2263（直通）】